

# 支援手順書の作成プロセス

# この時間で学びたいこと

- これまで行動障害が現れやすい人たちへの支援においては、  
「障害特性に合わせた支援（予防）が必要であること」  
「支援者が統一した支援をすること」  
が大切であることを確認してきました。
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書の作成方法を学びます。
- また、PDCAサイクルの流れで支援を改善していくために必要な、記録に基づく支援手順書の修正方法を学びます。

# 演習の流れ



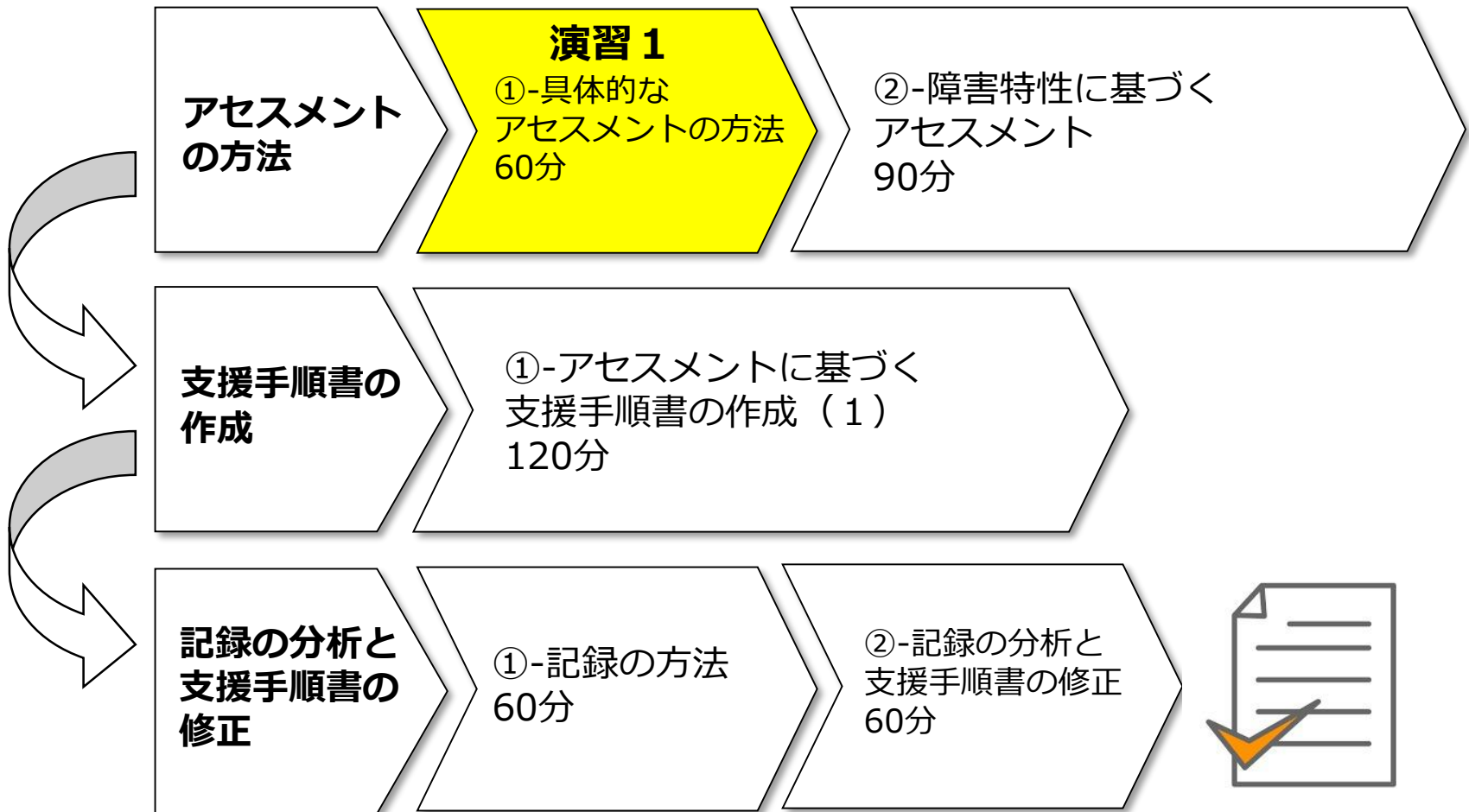


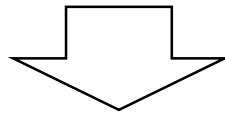
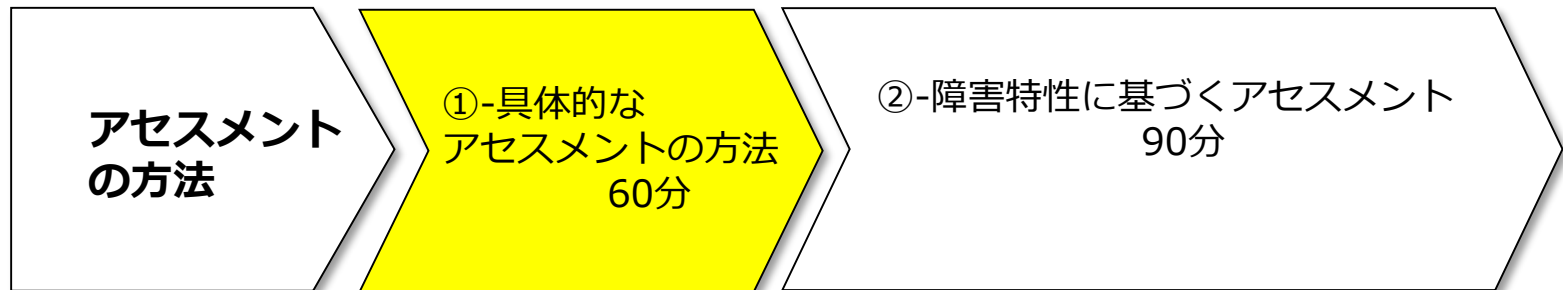
# 演習 1 アセスメントの方法 I

## 具体的なアセスメントの方法

社会福祉法人 嬉泉  
板橋区立赤塚福祉園  
主任支援員 北川 裕

# 演習の流れ





- i) 事例の紹介 (STさんの外出)
- ii) 基本情報の入手  
「基本情報シート」について
- iii) インフォーマルアセスメント  
「特性確認シート」とは  
「特性確認シート」の作成

# i) 事例の紹介 STさんの外出

STさんは、グループホームに住む重度知的障害を伴う、自閉スペクトラム症の男性です。

平日はグループホームから生活介護事業所に通い、休日は週1回、行動援護でヘルパーさんと外出しています。

STさんのある日の外出風景を見ながら、STさんが安心して外出ができる支援を考えてみましょう。



# STさんの外出場面

ハンバーガーショップへ行こう！

① 予定を確認する	ヘルパーさんが、STさんに今日の予定を伝えます。
② 移動する	グループホームを出てハンバーガーショップに向かいます。
③ 購入する	ハンバーガーショップに着き、食べるものを注文し購入します。
④ 食べる	席について食べます。
⑤ 片づける	食べたものを片づけます。
⑥ 帰宅する	グループホームに戻ります。

# ある日の情報

## 「その場にいる人」

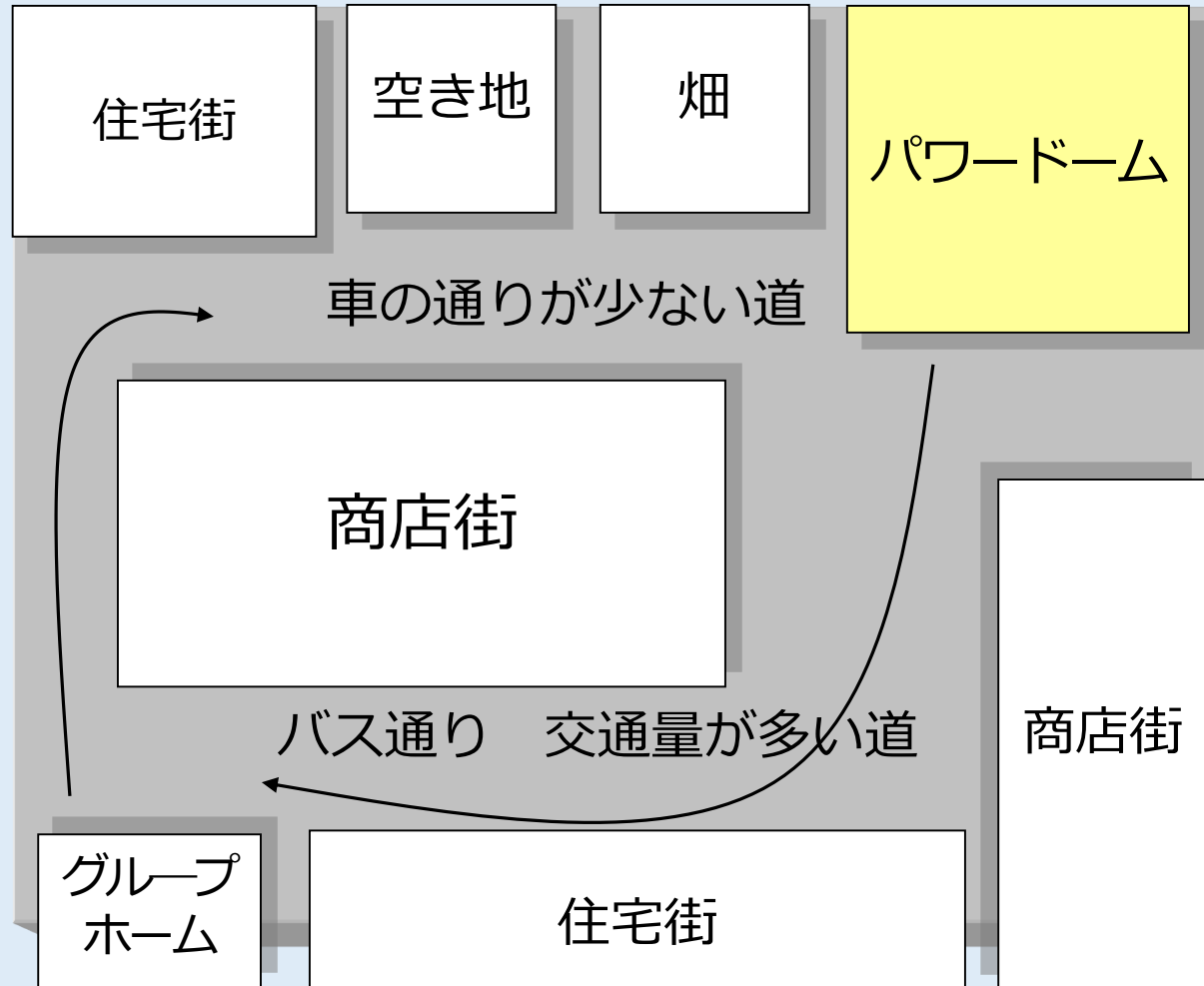
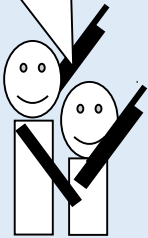
- ① S Tさん（利用者）
- ② ヘルパー：カメラマンの次に頻度の高いヘルパー(1回/月)
- ③ カメラマン：普段最も支援頻度の高いヘルパー(1回/週)
- ④ お客さん：初対面の見学者
- ⑤ 日中活動事業所スタッフ：  
グループホームに来ることは、まれ  
外出同行も、まれ

※画面ではわかりにくいですが④⑤も少し後ろから同行しています。

# グループホームからパワードームの道順

所要時間  
片道徒歩  
10分程度

ハンバーガー  
買いに  
行きます！



# 動画の視聴

それぞれの事業所にある  
基本情報を記載したシート。  
フェイスシート  
プロフィールシート  
聞き取りシート

参考シート  
資料 1 「STさん基本情報シート」 A4

※この演習では、STさんについて  
分かる情報のみ記入しています。

基本情報シート						記入日：〇〇〇年〇月〇〇日／記入者〇〇〇〇																												
カナ 名前 S・T様							性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女																											
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 グループホーム〇〇〇〇〇〇〇〇							生年月日 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇歳）																											
電話																																		
自宅電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（グループホーム）							携帯 なし																											
自宅Fax 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（グループホーム）							その他																											
緊急連絡先 ① 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇（続柄 後見人 ）							② （続柄 ）																											
家族構成									氏名			続柄			職業			同居／別居			氏名			続柄			職業			同居／別居				
生活歴 <small>（児童・施設）</small>									年 月			内容（所属・出来事など）										年 月			内容（所属・出来事など）									
									〇〇 〇〇			〇〇特別支援学校高等部卒業																						
									〇〇 〇〇			生活介護事業所〇〇（現在も利用中）																						
									〇〇 〇〇			グループホーム〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇入居																						
障害の程度									診断名			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（重度知的障害 自閉スペクトラム症）																						
									精神障害			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（ <input checked="" type="checkbox"/> 療育手帳 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B																						
									身体障害			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> １級 <input type="checkbox"/> ２級 <input type="checkbox"/> ３級																						
									発達障害			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 種 級																						
									高次脳機能障害			その他																						
医療									主に関わる医療機関			病院・医院名			診療科名			担当医師			病名			利用頻度										
									服薬（名称・量）			朝						眼前																
												昼						頓服																
												夕						その他																
									発作			有無 <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（頻度：週・月・年に 回程度）																						
												原因・きっかけ																						
												対応																						
サービスの利用									障害福祉サービス受給者証			受給者証番号						支給市町村			〇〇市													
									障害程度区分			<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4 <input checked="" type="checkbox"/> 区分5 <input type="checkbox"/> 区分6																						
									介護保険			<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 要支援（１・２） <input type="checkbox"/> 要介護（１・２・３・４・５）																						
									利用中のサービス			グループホーム〇〇〇〇〇〇〇〇 生活介護事業所〇〇（週５日） ヘルパーステーション〇〇〇（行動援助 週１回）																						
収入									就労収入			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 月額 約 8,000 円																						
									年金			<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 障害基礎年金 １級 <input type="checkbox"/> 障害厚生年金 級																						
									手当			<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 特別障害者手当 <input type="checkbox"/> 障害児福祉手当 <input type="checkbox"/> 特別児童扶養手当 <input type="checkbox"/> 児童扶養手当 <input type="checkbox"/> 児童手当 <input type="checkbox"/> その他（ ）																						
									その他			<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> その他（ ）																						

### **iii) インフォーマルアセスメント**

# アセスメント

- ・ アセスメントとは？  
「評価」や「実態把握」
- ・ 基本的なアセスメント情報  
「医学的な診断」「障害支援区分」「療育手帳」など

実際の支援には、  
支援の内容に直結  
する詳しい情報が  
必要

「フォーマルなアセスメント」  
・ 知能検査、発達検査など標準化された検査

「インフォーマルなアセスメント」  
・ 日常の観察やインタビューによって得られる情報

※この研修では、「行動チェックシート」及び「特性確認シート」を使います

# 「行動チェックシート」「特性確認シート」

参考シート 資料2「見本用行動チェックシート」A4  
「見本用特性確認シート」A3

支援者や保護者などが、普段の観察により、  
本人の自閉スペクトラム症の障害特性につ  
いて確認をする、インフォーマルなアセス  
メントシート



# 行動チェックシート

# 特性確認シート

## 行動チェックシート

[illegible]

特性確認シート

[illegible]

＜個人ワーク用＞

## 特性確認シートの内容

特性確認シート

＜個人ワーク用＞

活動の進捗と関係する項目	具体的な行動	点	【1】その行動の背景にある問題として考えられること （認知、記憶/注意、集中/運動、動機などの特性も含む）	点	【3】支援のアイデア
			一人にいることや自分のペースを過ごすことが好き 人とかわかることに對する不安が大きい 自分のことを伝えたくて他者へのかかわりが一方的になる 相手の立場や気持ちをとらえられない 周囲で起きていることへの関心が薄い 人の多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが苦手である 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である 得意に決められていることに自分で決められていることの区別が難しい 待つことが苦手である 自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう 危険や審美、周囲の状況に関係なく、思ったまますぐに行動する 独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい 文字や数などの理解が難しい いっしょに同じものを見て共感的に気持ちを渡らせることが難しい ひとつの活動への集中を持続することが難しい いつまでとくらいやるのか、終わりの境目が難しい どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない 覚えている範囲が狭い（目に入っていないところがある） 見る方向が定まらない 別のところに視点を移すことが難しい		生かせる強みがある（「ねばり」から）  自分と周囲との関係や価値などを見える形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える 頼むべき場所を確認する 一つの用途を多目的に使えないようにする 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何をを」をわかるように工夫する 指ったときに関連した単語などを伝えられようかを具体的に伝える 環境を整え、刺激を少なくする 活動の量やシグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する
社会性の特性					
コミュニケーションスキルの特性	ここに書かれている様な行動をヒントに【1】		話し言葉の理解が難しい 絵画的でないまじな表現の理解が難しい 言葉を処理するのに時間がかかる 表裏の両面を見る/伝言や暗号などの理解が難しい 相手の顔の表情全体にアセスを理解することが難しい 相手の表情や態度、声調などから意図をとらえることが苦手である かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない 相手に話しかけたいけれどうまくいかないという苦しさを感じる 聞き手は話を聞かないので話したい内容が伝わらない 理解と周囲のアンパランスが大き 場面や状況が変わるとコミュニケーションが断絶する		生かせる強みがある（「ねばり」から）  本人が使いやすいツール（文庫、筆跡、絵、写真、シンボル、具持物等）を提供する 伝え方を配する 伝え方を整える 理解できるまで待つ 環境を整え、刺激を少なくする だれに、どうやって伝えかを具体的に話す 必要に応じて支援を行う その他
想像力の特性			見えないものの理解が難しい 自分のルールを変えられることに強い拒否を感じる 見通しが待てないことに不安を感じる 目標が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い 活動の途中で止められることに抵抗を感じる 初めての場面で苦手である 役割りを組んだり、役先陣位をつけたりすることが苦手である なんとなく、したいなどのイメージを持ちにくい 興味関心が狭くて強く、興味の対象に執着することもある 嫌いなことが気になって続けられなくなってしまう 同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある 情報の多いものの処理が苦手である 複数の情報を同時に処理することが苦手である 好きなものはきこくのことをずっと忘れてしまう 過去のあつたことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である ちのことの関連性をとらえにくい	【2】	生かせる強みがある（「ねばり」から）  最初から正しい方法でやる準備をする 予備を視覚的に示し、成功につながる手がかりを提供する 忘れられた場合に、手がかりが見えるようにする 必要な考え方を統一する 情報の提示なのか活動の逆戻りなのかを明確にする 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせた提示（ごほうびの活用）を行う ごほうび等を活用して活動に意欲をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れも確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
感覚の特性			感覚過敏や鈍感がある（特定の音が嫌い、特定の服が大層苦で困りたいなど） 視覚過敏や鈍感がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見たくなるなど） 聴覚過敏や鈍感がある（耳鳴りなどに強い痛みを感じる、急に音に敏感など） 嗅覚過敏や鈍感がある（匂いに敏感・不寛容がある、特定の臭いを好むなど） 味覚過敏や鈍感がある（辛い・塩辛いがある、特定の刺激の強い味を好むなど） 目が開けにくい、乗り物酔いが頻発しやすい、体を揺らしたがる、高い場所が好きなど 汗をかきにくく体温調節が苦手、気温の変化に弱いなど 力加減がうまくできないなど 疲労やストレスが感覚過敏や鈍感に影響をもたらす つまむなど細かい手の使い方が不得手である 左手と右手を協働させて操作することが苦手である 道具を上手に使うことが難しい 立位や座位など、姿勢の維持が難しい 身体が動かし方がわからない 球技などの運動が苦手である 身体接触が上手にできない		生かせる強みがある（「ねばり」から）  必要な刺激を確認する 十分な刺激を少なくするための配慮（イヤーマフ、サングラスなど）をする 抱擁や代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確認を行う その他

※得意なこと・強み・できること、好きなことなど

## 支援に活用できそうな本人の「強み」をピックアップ

# 「行動チェックシート」 「特性確認シート」の作成



まずは講師がやってみます

STさんの外出場面①「予定を確認する」を使って、アセスメントを行います。

1. 「予定を確認する」場面の動画を視聴した後、「現れている行動の例」をチェック☑し、「具体的な行動」を記入する。
2. 行動チェックシートの具体的な行動を特性確認シートに転記する。
3. 「その行動の背景にある要因として考えられること」をチェックする。
4. 有効だと考えられる「支援のアイデア」をチェックする。
5. 支援に活用できそうな本人の「強み」をピックアップする。

1. 「予定を確認する」場面の動画を視聴し、  
「現れている行動の例」をチェック✓し、  
「具体的な行動」を記入します。

行動チェックシート

[illegible]

# 「現れている行動の例」をチェック✓します

診断の基準に 関する項目		行動チェック		
		想定される行動や減少の例		具体的な行動
コミュニケーションの 特性	理解が 難しい	<b>指示と違った行動が目立つ</b>	✓	
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある		
		<b>話の理解が部分的で会話が進まないことがある</b>	✓	
		相手の表情や視線等に反応が薄い		
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる		
		文章が長くなると理解が浅くなる		
		<b>相手の言葉をそのまま繰り返すことがある</b>	✓	
		言葉の意味を勘違いすることが多い		
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない		
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない		
		言葉を字義通りに受け取ることがある		
	発信が 難しい	かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある		
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す		
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りたくなると「りんご」と言う）		
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）		
		<b>返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い</b>	✓	
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
		文法が使えない（単語、二語文等）		
	やり取り が難しい	<b>目線が合わないことが多い</b>	✓	
		<b>やり取りがかみ合っていない</b>	✓	
		やり取りが続かない		
		唐突に話し始めることがある		
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している		
		理解と発信のアンバランスさが大きい		

# 「具体的な行動」を記入します

まず、行動が現れている時の、「場面」を書き出します。

診断の基準に 関する項目		行動チェック		
		想定される行動や減少の例		具体的な行動
コミュニケーションの 特性	理解が 難しい	指示と違った行動が目立つ	✓	「散歩に行ってパワードームに行きます」に対して
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある		
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある	✓	
		相手の表情や視線等に反応が薄い		「パワードーム知ってますか？」に対して
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる		
		文章が長くなると理解が浅くなる		
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある	✓	「パワードームでおやつ食べます」に対して
		言葉の意味を勘違いすることが多い		
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない		
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない		
	発信が 難しい	言葉を字義通りに受け取ることがある		
		かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある		
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す		
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りたくなると「りんご」と言う）		
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）		
		返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い	✓	「おやつ食べますか」という質問に対して
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
		文法が使えない（単語、二語文等）		
	やり取り が	目線が合わないことが多い	✓	ヘルパーさんが顔を覗いても
		やり取りがかみ合っていない	✓	
		やり取りが続かない		ヘルパーさんが懸命に話しかけても
		唐突に話し始めることがある		
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している		
		理解と発信のアンバランスさが大きい		

# 「具体的な行動」を記入します

まず、行動が現れている時の、「場面」を書き出します。

診断の基準に 関する項目		行動チェック		
		想定される行動や減少の例		具体的な行動
コミュニケーションの 特性	理解が 難しい	指示と違った行動が目立つ	✓	「散歩に行ってパワードームに行きます」に対して → <b>身体を揺らしている</b>
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある		
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある	✓	
		相手の表情や視線等に反応が薄い		
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる		
		文章が長くなると理解が浅くなる		
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある	✓	
		言葉の意味を勘違いすることが多い		
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない		
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない		
		言葉を字義通りに受け取ることがある		
				「パワードームでおやつ食べます」に対して → <b>「オヤツオヤツタベマ」</b> と言う
	発信が 難しい	かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある		
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す		
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りたくなると「りんご」と言う）		
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）		
		返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い	✓	
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
		文法が使えない（単語、二語文等）		
				「おやつ食べますか」という質問に対して → <b>「オヤツター」</b> と言う
	やり取りが 難しい	目線が合わないことが多い	✓	
		やり取りがかみ合っていない	✓	
		やり取りが続かない		
		唐突に話し始めることがある		
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している		
		理解と発信のアンバランスさが大きい		
				ヘルパーさんが顔を覗いても → <b>視線を合わせない</b>  ヘルパーさんが懸命に話しかけても → <b>やり取りが出来ない</b>

# 「具体的な行動」を記入します

最後に文章にします

診断の基準に 関する項目		行動チェック		
		想定される行動や減少の例		具体的な行動
コミュニケーションの 特性	理解が 難しい	指示と違った行動が目立つ	✓	ヘルパーに質問されても身体を揺らしている
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある		
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある	✓	
		相手の表情や視線等に反応が薄い		
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる		
		文章が長くなると理解が浅くなる		
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある	✓	
		言葉の意味を勘違いすることが多い		
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない		
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない		
	発信が 難しい	かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある		ヘルパーの言葉をオウム返しする
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す		
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りたくなると「りんご」と言う）		
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）		
		返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い	✓	
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
		文法が使えない（単語、二語文等）		
	やり取り が難しい	目線が合わないことが多い	✓	ヘルパーが顔を覗いても視線が合わない
		やり取りがかみ合っていない	✓	
		やり取りが続かない		
		唐突に話し始めることがある		
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している		
		理解と発信のアンバランスさが大きい		



**2. 行動チェックシートの具体的行動  
を特性確認シートに転記する。**

## 「具体的な行動」を特性確認シートに転記します

## 行動チェックシート

[illegible]

特性確認シート

[illegible]

＜個人ワーク用＞

**3. 「その行動の背景にある要因として考えられること」をチェック  
✓します。**

# 行動の背景にある要因を考えます

診断の基準に 関係する項目		【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)
	具体的な行動	
コミュニケーションの特性	ヘルパーに質問されても身体を揺らしている ヘルパーの言葉をオウム返しする ヘルパーの質問にエコラリアで答えている ヘルパーが顔を覗いても視線が合わない ヘルパーが話しかけてもやり取りが出来ない	<input checked="" type="checkbox"/> <b>話し言葉の理解が難しい</b> <input type="checkbox"/> 抽象的であいまいな表現の理解が難しい <input type="checkbox"/> 言葉を処理するのに時間がかかる <input type="checkbox"/> 字義通りの理解をする／冗談や慣用句などの理解が難しい <input type="checkbox"/> 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい <input checked="" type="checkbox"/> <b>相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である</b> <input type="checkbox"/> かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない <input type="checkbox"/> 相手の言葉を繰り返したりコマーシャルのフレーズは言えても、言葉で伝えられない <input checked="" type="checkbox"/> <b>誰に伝えていいのかわからない</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>やりとりをすること自体の意味がわからない</b> <input type="checkbox"/> 理解と発信のアンバランスさが大きい <input type="checkbox"/> 場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

[illegible]

## 4. 「支援のアイデア」をチェック✓ します

# 支援のアイデアを確認します

診断の基準に 関係する項目 <input type="checkbox"/>		【2】 その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	<input type="checkbox"/> 【3】 支援のアイデア
コミュニケーションの特性	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>話し言葉の理解が難しい</b>	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（☆欄から）  <input checked="" type="checkbox"/> <b>本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等）を提供する</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>伝える量に配慮する</b> <input type="checkbox"/> 伝える速さを調整する <input type="checkbox"/> 理解できるまで待つ <input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする <input checked="" type="checkbox"/> <b>だれに、どうやって伝えるか具体的に示す</b> <input type="checkbox"/> 忘れたときに思い出すせる工夫を用意する <input type="checkbox"/> 会話も見えるツールで支援する <input type="checkbox"/> 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
	<input type="checkbox"/>	抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	<input type="checkbox"/>	言葉を処理するのに時間がかかる	
	<input type="checkbox"/>	字義通りの理解をする/冗談や慣用句などの理解が難しい	
	<input type="checkbox"/>	相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である</b>	
	<input type="checkbox"/>	かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない	
	<input type="checkbox"/>	相手の言葉を繰り返したりコマースシャルのフレーズは言えても、言葉で伝えられない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>誰に伝えていいかわからない</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>やりとりをすること自体の意味がわからない</b>	
	<input type="checkbox"/>	理解と発信のアンバランスさが大きい	
	<input type="checkbox"/>	場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	

項目	1. 認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性	2. 社会的スキル
認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性	1. 認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性 2. 社会的スキル 3. 社会的スキル 4. 社会的スキル 5. 社会的スキル 6. 社会的スキル 7. 社会的スキル 8. 社会的スキル 9. 社会的スキル 10. 社会的スキル 11. 社会的スキル 12. 社会的スキル 13. 社会的スキル 14. 社会的スキル 15. 社会的スキル 16. 社会的スキル 17. 社会的スキル 18. 社会的スキル 19. 社会的スキル 20. 社会的スキル 21. 社会的スキル 22. 社会的スキル 23. 社会的スキル 24. 社会的スキル 25. 社会的スキル 26. 社会的スキル 27. 社会的スキル 28. 社会的スキル 29. 社会的スキル 30. 社会的スキル 31. 社会的スキル 32. 社会的スキル 33. 社会的スキル 34. 社会的スキル 35. 社会的スキル 36. 社会的スキル 37. 社会的スキル 38. 社会的スキル 39. 社会的スキル 40. 社会的スキル 41. 社会的スキル 42. 社会的スキル 43. 社会的スキル 44. 社会的スキル 45. 社会的スキル 46. 社会的スキル 47. 社会的スキル 48. 社会的スキル 49. 社会的スキル 50. 社会的スキル 51. 社会的スキル 52. 社会的スキル 53. 社会的スキル 54. 社会的スキル 55. 社会的スキル 56. 社会的スキル 57. 社会的スキル 58. 社会的スキル 59. 社会的スキル 60. 社会的スキル 61. 社会的スキル 62. 社会的スキル 63. 社会的スキル 64. 社会的スキル 65. 社会的スキル 66. 社会的スキル 67. 社会的スキル 68. 社会的スキル 69. 社会的スキル 70. 社会的スキル 71. 社会的スキル 72. 社会的スキル 73. 社会的スキル 74. 社会的スキル 75. 社会的スキル 76. 社会的スキル 77. 社会的スキル 78. 社会的スキル 79. 社会的スキル 80. 社会的スキル 81. 社会的スキル 82. 社会的スキル 83. 社会的スキル 84. 社会的スキル 85. 社会的スキル 86. 社会的スキル 87. 社会的スキル 88. 社会的スキル 89. 社会的スキル 90. 社会的スキル 91. 社会的スキル 92. 社会的スキル 93. 社会的スキル 94. 社会的スキル 95. 社会的スキル 96. 社会的スキル 97. 社会的スキル 98. 社会的スキル 99. 社会的スキル 100. 社会的スキル	1. 社会的スキル 2. 社会的スキル 3. 社会的スキル 4. 社会的スキル 5. 社会的スキル 6. 社会的スキル 7. 社会的スキル 8. 社会的スキル 9. 社会的スキル 10. 社会的スキル 11. 社会的スキル 12. 社会的スキル 13. 社会的スキル 14. 社会的スキル 15. 社会的スキル 16. 社会的スキル 17. 社会的スキル 18. 社会的スキル 19. 社会的スキル 20. 社会的スキル 21. 社会的スキル 22. 社会的スキル 23. 社会的スキル 24. 社会的スキル 25. 社会的スキル 26. 社会的スキル 27. 社会的スキル 28. 社会的スキル 29. 社会的スキル 30. 社会的スキル 31. 社会的スキル 32. 社会的スキル 33. 社会的スキル 34. 社会的スキル 35. 社会的スキル 36. 社会的スキル 37. 社会的スキル 38. 社会的スキル 39. 社会的スキル 40. 社会的スキル 41. 社会的スキル 42. 社会的スキル 43. 社会的スキル 44. 社会的スキル 45. 社会的スキル 46. 社会的スキル 47. 社会的スキル 48. 社会的スキル 49. 社会的スキル 50. 社会的スキル 51. 社会的スキル 52. 社会的スキル 53. 社会的スキル 54. 社会的スキル 55. 社会的スキル 56. 社会的スキル 57. 社会的スキル 58. 社会的スキル 59. 社会的スキル 60. 社会的スキル 61. 社会的スキル 62. 社会的スキル 63. 社会的スキル 64. 社会的スキル 65. 社会的スキル 66. 社会的スキル 67. 社会的スキル 68. 社会的スキル 69. 社会的スキル 70. 社会的スキル 71. 社会的スキル 72. 社会的スキル 73. 社会的スキル 74. 社会的スキル 75. 社会的スキル 76. 社会的スキル 77. 社会的スキル 78. 社会的スキル 79. 社会的スキル 80. 社会的スキル 81. 社会的スキル 82. 社会的スキル 83. 社会的スキル 84. 社会的スキル 85. 社会的スキル 86. 社会的スキル 87. 社会的スキル 88. 社会的スキル 89. 社会的スキル 90. 社会的スキル 91. 社会的スキル 92. 社会的スキル 93. 社会的スキル 94. 社会的スキル 95. 社会的スキル 96. 社会的スキル 97. 社会的スキル 98. 社会的スキル 99. 社会的スキル 100. 社会的スキル
社会的スキル	1. 社会的スキル 2. 社会的スキル 3. 社会的スキル 4. 社会的スキル 5. 社会的スキル 6. 社会的スキル 7. 社会的スキル 8. 社会的スキル 9. 社会的スキル 10. 社会的スキル 11. 社会的スキル 12. 社会的スキル 13. 社会的スキル 14. 社会的スキル 15. 社会的スキル 16. 社会的スキル 17. 社会的スキル 18. 社会的スキル 19. 社会的スキル 20. 社会的スキル 21. 社会的スキル 22. 社会的スキル 23. 社会的スキル 24. 社会的スキル 25. 社会的スキル 26. 社会的スキル 27. 社会的スキル 28. 社会的スキル 29. 社会的スキル 30. 社会的スキル 31. 社会的スキル 32. 社会的スキル 33. 社会的スキル 34. 社会的スキル 35. 社会的スキル 36. 社会的スキル 37. 社会的スキル 38. 社会的スキル 39. 社会的スキル 40. 社会的スキル 41. 社会的スキル 42. 社会的スキル 43. 社会的スキル 44. 社会的スキル 45. 社会的スキル 46. 社会的スキル 47. 社会的スキル 48. 社会的スキル 49. 社会的スキル 50. 社会的スキル 51. 社会的スキル 52. 社会的スキル 53. 社会的スキル 54. 社会的スキル 55. 社会的スキル 56. 社会的スキル 57. 社会的スキル 58. 社会的スキル 59. 社会的スキル 60. 社会的スキル 61. 社会的スキル 62. 社会的スキル 63. 社会的スキル 64. 社会的スキル 65. 社会的スキル 66. 社会的スキル 67. 社会的スキル 68. 社会的スキル 69. 社会的スキル 70. 社会的スキル 71. 社会的スキル 72. 社会的スキル 73. 社会的スキル 74. 社会的スキル 75. 社会的スキル 76. 社会的スキル 77. 社会的スキル 78. 社会的スキル 79. 社会的スキル 80. 社会的スキル 81. 社会的スキル 82. 社会的スキル 83. 社会的スキル 84. 社会的スキル 85. 社会的スキル 86. 社会的スキル 87. 社会的スキル 88. 社会的スキル 89. 社会的スキル 90. 社会的スキル 91. 社会的スキル 92. 社会的スキル 93. 社会的スキル 94. 社会的スキル 95. 社会的スキル 96. 社会的スキル 97. 社会的スキル 98. 社会的スキル 99. 社会的スキル 100. 社会的スキル	1. 社会的スキル 2. 社会的スキル 3. 社会的スキル 4. 社会的スキル 5. 社会的スキル 6. 社会的スキル 7. 社会的スキル 8. 社会的スキル 9. 社会的スキル 10. 社会的スキル 11. 社会的スキル 12. 社会的スキル 13. 社会的スキル 14. 社会的スキル 15. 社会的スキル 16. 社会的スキル 17. 社会的スキル 18. 社会的スキル 19. 社会的スキル 20. 社会的スキル 21. 社会的スキル 22. 社会的スキル 23. 社会的スキル 24. 社会的スキル 25. 社会的スキル 26. 社会的スキル 27. 社会的スキル 28. 社会的スキル 29. 社会的スキル 30. 社会的スキル 31. 社会的スキル 32. 社会的スキル 33. 社会的スキル 34. 社会的スキル 35. 社会的スキル 36. 社会的スキル 37. 社会的スキル 38. 社会的スキル 39. 社会的スキル 40. 社会的スキル 41. 社会的スキル 42. 社会的スキル 43. 社会的スキル 44. 社会的スキル 45. 社会的スキル 46. 社会的スキル 47. 社会的スキル 48. 社会的スキル 49. 社会的スキル 50. 社会的スキル 51. 社会的スキル 52. 社会的スキル 53. 社会的スキル 54. 社会的スキル 55. 社会的スキル 56. 社会的スキル 57. 社会的スキル 58. 社会的スキル 59. 社会的スキル 60. 社会的スキル 61. 社会的スキル 62. 社会的スキル 63. 社会的スキル 64. 社会的スキル 65. 社会的スキル 66. 社会的スキル 67. 社会的スキル 68. 社会的スキル 69. 社会的スキル 70. 社会的スキル 71. 社会的スキル 72. 社会的スキル 73. 社会的スキル 74. 社会的スキル 75. 社会的スキル 76. 社会的スキル 77. 社会的スキル 78. 社会的スキル 79. 社会的スキル 80. 社会的スキル 81. 社会的スキル 82. 社会的スキル 83. 社会的スキル 84. 社会的スキル 85. 社会的スキル 86. 社会的スキル 87. 社会的スキル 88. 社会的スキル 89. 社会的スキル 90. 社会的スキル 91. 社会的スキル 92. 社会的スキル 93. 社会的スキル 94. 社会的スキル 95. 社会的スキル 96. 社会的スキル 97. 社会的スキル 98. 社会的スキル 99. 社会的スキル 100. 社会的スキル

# 5. 「強み」を書き出します

特性確認シート

<個人ワーク用>

段階の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】 その行動の昇格にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	【3】 支援のアイデア
社会性 の 特 性		<p>一人でいることや自分のペースで過ごすことを好む</p> <p>人とかわかることにに対する不安が大きい</p> <p>自分のことを伝えたくて他者へのかわり方一方向的になる</p> <p>相手の立場や気持ちをとらえきれない</p> <p>周囲で起こっていることへの関心が薄い</p> <p>人の多いところが苦手である</p> <p>他者の人といっしょに活動することが苦手である</p> <p>周囲から期待される行動を理解するのが苦手である</p> <p>他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい</p> <p>待つことが苦手である</p> <p>自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう</p> <p>危険や審美、周囲の状況に関係なく、思った通りに行動する</p> <p>独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい</p> <p>手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい</p> <p>文字や数などの理解が難しい</p> <p>いっしょに同じものを見て同時に気持ちや通感することが難しい</p> <p>ひとつの活動への集中を維持することが難しい</p> <p>いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい</p> <p>どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない</p> <p>見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある）</p> <p>見る方向が定まらない</p> <p>別のところに視点を移すことが難しい</p>	<p>生かせる強みがある（△欄から）</p> <p>自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える</p> <p>自分の心と体を休められる場所を用意する</p> <p>「いつ」「どこで」「何を」の情報を提供してわかるように伝える</p> <p>返答すべき場所を強調する</p> <p>一つの場所を多目的に使わないようにする</p> <p>「どうやって」「どうなったらいかがいかわかるように工夫する</p> <p>困ったときに誰にどう伝えたらいいかを具体的に伝える</p> <p>環境を整え、刺激を少なくする</p> <p>活動の量やシグなどの工夫をする</p> <p>椅子や材料などの配置を工夫する</p>
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性		<p>話し言葉の理解が難しい</p> <p>抽象的で深い言葉や表現の理解が難しい</p> <p>言葉を処理するのに時間がかかる</p> <p>字義通りの理解をする/冗談や慣用句などの理解が難しい</p> <p>相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい</p> <p>相手の表情や視線、声調などから意図をとらえることが苦手である</p> <p>かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない</p> <p>相手の言葉を繰り返したりコマースルのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない</p> <p>誰に伝えていいかわからない</p> <p>やりとりすること自体の意図がわからない</p> <p>理解と発信のアンバランスが大きい</p> <p>環境や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない</p>	<p>生かせる強みがある（△欄から）</p> <p>本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等）を提供する</p> <p>伝える前に配慮する</p> <p>伝える速さを調整する</p> <p>理解できるまで待つ</p> <p>環境を整え、刺激を少なくする</p> <p>だれに、どうやって伝えるかを具体的に示す</p> <p>忘れたときに思い出させる工夫を用意する</p> <p>会話も見えやすいツールで支援する</p> <p>本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする</p>
想 像 力 の 特 性		<p>見えないものの理解が難しい</p> <p>自分のルールを変えられることに強い拒絶を感じる</p> <p>形無しが待てないことに不安を感じる</p> <p>日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更が難しい</p> <p>活動の途中で止められることに拒絶を感じる</p> <p>初めての場面で苦手である</p> <p>段取りを組んだり、優先順位をつけたりすることが苦手である</p> <p>なんとなく、だいたいのイメージを持ちにくい</p> <p>興味関心が狭くて深く、興味の対象に執着的になることもある</p> <p>細かいことが気になって振られなくなってしまう</p> <p>同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある</p> <p>情報の多いものの処理が苦手である</p> <p>複数の情報を同時に処理することが苦手である</p> <p>今あるいはさきのこととすくなく忘れてしまう</p> <p>過去のあるべきことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある</p> <p>部分的な処理が強く全体の理解が苦手である</p> <p>ものごとの関連性をとらえにくい</p>	<p>生かせる強みがある（△欄から）</p> <p>録画から正しい方法で学べる準備をする</p> <p>予告を視覚的に示し、成功につながる手がかりを提供する</p> <p>忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする</p> <p>変更の使い方を統一する</p> <p>情報の提示なのか活動の選択なのかを明確にする</p> <p>環境を整え、刺激を少なくする</p> <p>本人の興味関心に合わせた提示（ごほうびの活用）を行う</p> <p>ごほうび等を利用して活動に意図を持たせる</p> <p>忘れたら思い出させるようにする</p> <p>忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする</p> <p>その他</p>
感 覚 の 特 性		<p>感覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が嫌い、特定の触覚を大嫌いで触れないなど）</p> <p>視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしがる、キラキラしたものが見えなくなるなど）</p> <p>聴覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みを鈍感など）</p> <p>嗅覚の過敏や鈍麻がある（強い匂いが嫌い、刺激臭を好むなど）</p> <p>味覚の過敏や鈍麻がある（辛い・歯痛がある、特定の刺激の強い味を好むなど）</p> <p>目が回りくわい、乗り物酔いが頻度にある、体を揺らしたがる、高い場所が好きなど</p> <p>汗をかきにくく体温調節が苦手、気圧の変化に弱いなど</p> <p>力加減がうまくできないなど</p> <p>身体がストレスが感覚の過敏や鈍麻に刺激をきたらす</p> <p>つまむなど細かい手先の使い方が不慣れである</p> <p>右手と左手を協定させて操作することが苦手である</p> <p>道具を上手に使うことが難しい</p> <p>立位や座位など、姿勢の維持が難しい</p> <p>身体のかし方がぎこちない</p> <p>球技などの運動が苦手である</p> <p>身体運動が上手にできない</p>	<p>生かせる強みがある（△欄から）</p> <p>必要な刺激は保証する</p> <p>苦手を刺激を少なくするための配慮（イヤーマフ・サングラスなど）をする</p> <p>他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる</p> <p>避難場所の確保を行う</p> <p>その他</p>

△得意なこと・強み・  
できること・好きなことなど

# 「強み」(ストレングス)とは

支援をするときに活かせそうな、本人の能力や環境

## ※ストレングスモデル

その人が元来持っている強さに注目し、それを引き出して活用していこうとする考え方

障害特性も「リフレーミング」により強みになる場合もある。



# (参考) リフレーミング

ある枠組み（フレーム）で捉えられている物事を、枠組みをはずして違う枠組みで見ること

今までの考えとは「解釈を変える・視点を変える」

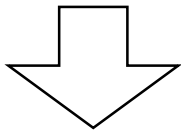
「違った角度からアプローチする」ことにより、誰もが潜在的に持っている能力を使って、意図的に自分や相手の生き方を健全なものにし、ポジティブなものにしていく。

# リフレーミングの例

「水をどのくらい飲めましたか？」

## 【ポジティブ】

半分も飲めている

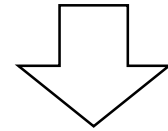


「あと少しで飲み終わりますね。」  
「頑張ってますね。」



## 【ネガティブ】

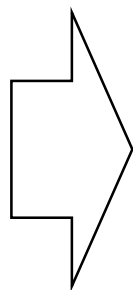
半分しか飲めていない



「全然飲めていない  
ですね。」  
「早く飲んでください  
いよ。」

# リフレーミングの例

- 動作が遅い
- 大雑把
- 頑固、融通がきかない
- 気が散りやすい
- 自己中心的
- 心配性
- 自分勝手
- 作業が雑
- 集団で行動できない
- 飽きっぽい
- しつこい
- 人に流されやすい



- 一つ一つ丁寧にできる
- 小さいことが気にならない
- 強い意志を持っている
- 好奇心旺盛
- 自分のことを大切にできる
- 先のことを予測できる
- 主体的に行動できる
- 大まかなことはできる
- 1人で行動できる
- 気持ちの切り替えが早い
- ねばり強い
- 状況把握ができています

# リフレーミングの考え方の大切さ

リフレーミングは、問題、課題への対応方法を考えるときに用いることが多い。

問題・課題解決において

- ① 「できない理由」ではなく「どうやったらできるか」を考えるようになる
- ② その人自身を変えようとするのではなく、環境、支援方法を変えるようになる
- ③ ピンチをチャンスに変える思考習慣が身につく

# 本人の情報の中から、 支援に活かせそうな本人の「強み」をピックアップします。

## 本人の情報

A D L：着脱はできるが、身だしなみを整えることは難しい。食べこぼしはあるが、一人で食べることができる。食べる速度は速い。排尿は自立。排便はふきとりに介助が必要

ことばの理解：普段よく使う言葉に反応することがあるが、理解した行動には至らないことが多い。

気持ちの伝え方：要求するときは、言葉ではなく、多くは相手の手を取り伝える。エコラリア（反響言語）が多く会話にはならない。

自宅での余暇活動：音楽を聴く 紙破き

※暇な時間に紙を破いて過ごすことがある。お金に関しては破かないこともあるが、お金とそれ以外の紙を区別しているかは不明。

視覚支援：これまで写真や絵カードを使って支援された経験はないが、好きな店のロゴマークを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことはある。

その他の気になる行動：不安定になると、床や服のゴミや毛玉などが気になり、拾って見えないところに捨てる。片ひざをつく、ロッキングなどの行動が増える。

活動の予告：一日の活動の予告などはされておらず、直前に次の活動について言葉で丁寧に予告するという支援がされている。

外出の頻度：パワードームへの外出は月1回前後。その際ハンバーガーショップへ行くこともしばしばある。この活動をS・Tさんが好きかどうかはわからないが、食べる活動は嫌いではないように支援者は感じている。

活動の選択：普段の生活の場面で明らかにS・Tさんの意志で、しっかり選択したと思われるようなことはなく、支援者が推し量って選択することがほとんど。メニューも支援者が選んでいる。

外出ルート：特にこだわりのようなものは無い。支援者がルートを決めている。

※今回の外出では、行きは、普段からよく走ることが多いので車通りの少ない道を選び、帰りは、車通りは多いけれど本人が帰宅するのに最もわかりやすい道を選んでいる。

好きなもの・苦手なもの：活動として好きなことは、ブランコ、乗り物にのること、歌を聴くことなど。苦手なものは犬。

# ☆得意なこと・強み・できること・好きなことなどの欄に記載します。

特性確認シート		＜個人ワーク用＞	
診断の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】 その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	【3】 支援のアイデア
社会性 の 特 性		一人にいることや自分のペースで過ごすことを好む 人とかわかることに對する不安が大きい 自分のことを伝えたくて他者へのかかわりが一方的になる 相手の立場や気持ちをとらえきれない 教室で話していることへの関心が薄い 人の多いところが苦手である 援助の人といっしょに活動することが苦手である 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である 他者に求められていることと自分から求められていることの区別が難しい 待つことが苦手である 自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう 危険や審美、周囲の状況に関係なく、思いたつたらずに行動する 相手の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい 手がかりが家とちがうから、応用が難しい 文字や数などの理解が難しい いっしょに同じものを見て其感に気持ちを通わせることが難しい ひとつの活動への集中を持続することが難しい いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない 見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある） 見る方向が定まらない 別のところに視点を移すことが難しい	生かせる強みがある（何から） 自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える 返答すべき場所を強調する 一つの場所を多目的に使いたいようにする 「どうやって」「どうなったら終わる」「次に何をやる」をわかるように工夫する 困ったときに誰にどう伝えたらいいかを具体的に伝える 場境を整え、刺激を少なくする 活動の量やシグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	ヘルパーに質問されても身体を揺らしている ヘルパーの言葉をオウム返りする ヘルパーの質問にエゴリアで答えている ヘルパーが顔を覗いても視線が合わない ヘルパーが話しかけてもやり取りが出来ない	✓ 話し言葉の理解が難しい 抽象的であいまいな表現の理解が難しい 言葉を通じるのに時間がかかる 手裏通りの理解をする/冗談や慣用語などの理解が難しい 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい ✓ 相手の表情や視線、声質などから意図をとらえるのが苦手である かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない 相手の言葉を繰り返したりコマースのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない ✓ 話し言葉の理解が難しい ✓ やり取りすること自体の意味が分からない 理解と発信のアンバランスが大きい 場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	生かせる強みがある（何から） ✓ 本人が使いやすいツール（文庫、単語、絵、写真、シンボル、身体動作）を提供する ✓ 伝える側に配慮する 伝え速さを調整する 理解できるまで待つ 場境を整え、刺激を少なくする ✓ だれに、どうやって伝えるか具体的に示す 忘れたときに思い出させる工夫を用意する 活動も見えやすいツールで支援する 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
想 像 力 の 特 性		見えないものの理解が難しい 自分のルールを変えられることに強い困惑を感じる 要請しが待てないことに不安を感じる 日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い 活動の途中で止められることに抵抗を感じる 初めての場面で苦手である 段取りを組んだり、優先順位をつけたりすることが苦手である なんとなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい 興味関心が狭くて深く、興味の対象に教育的になることもある 細かいことがなくなると受けられなくなってしまう 同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある 情報の多いものの処理が苦手である 複数の情報を同時に処理することが苦手である 今あるいはさっきのことをすぐに忘れてしまう 過去のあるべきことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である ものごとの関連性をとらえにくい	生かせる強みがある（何から） 最初から正しい方法で学べる準備をする 予告を視覚的に示し、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 変更の使え方を統一する 情報の提示なのか活動の選択なのかを明確にする 場境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせて提示（ごほうびの活用）を行う ごほうび等を活用して活動に意味をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
感 覚 の 特 性		感覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が嫌い、特定の音を大量で聞きたいなど） 視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見たくるなど） 触覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みに鈍感など） 嗅覚の過敏や鈍麻がある（嫌味に強い痛みを感じる、刺激臭を好むなど） 味覚の過敏や鈍麻がある（辛い食べ物がある、特定の刺激の強い味を好むなど） 音が回りにくく、乗り物酔いが原因で、体を揺らしたがる、高い場所が好きなど 手をかきにくく体感調整が苦手、気圧の変化に弱いなど 力加減がうまくできないなど 疲労やストレスが感覚の過敏や鈍麻に影響をもたらす つまむなど細かい手先の使い方が不慣れである 右手と左手を協応させて操作することが苦手である 道具を上手に使うことが難しい 立位や座位など、姿勢の維持が難しい 身体が動かし方がわからない 演技などの運動が苦手である 身体関節が上手にできない	生かせる強みがある（何から） 必要な刺激は保証する 苦手な刺激を少なくするための配慮（イヤマフ・サングラスなど）をする 他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 調整場所の確保を行う その他
☆得意なこと・強み・ できること・好きなことなど		好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある	

# 支援のアイデアに活かせそうな内容を転記します。

特性確認シート		＜個人ワーク用＞	
診断の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
社会性 の 特 性		<p>一人にいることや自分のペースで過ごすことを好む</p> <p>人とかわかることに対する不安が大きい</p> <p>自分のことを伝えたくて相手へのかかわりが一方的になる</p> <p>相手の立場や気持ちをとらえきれない</p> <p>間違て話していることへの関心が薄い</p> <p>人の多いところが苦手である</p> <p>援助の人といっしょに活動することが苦手である</p> <p>周囲から期待される行動を理解するのが苦手である</p> <p>他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい</p> <p>待つことが苦手である</p> <p>自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう</p> <p>危険や審美、周囲の状況に関係なく、思い当たらずに行動する</p> <p>相手の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい</p> <p>手がかりが家の中とわからなくなり、応用が難しい</p> <p>文字や数などの理解が難しい</p> <p>いっしょに同じものを見て其感的に気持ちを通わせることが難しい</p> <p>ひとつの活動への集中を持続することが難しい</p> <p>いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい</p> <p>どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない</p> <p>見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある）</p> <p>見る方向が定まらない</p> <p>別のところに視点を移すことが難しい</p>	<p>生かせる強みがある（何個から）</p> <p>自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える</p> <p>自分の心と体を休められる場所を用意する</p> <p>「いい」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える</p> <p>返答すべき場所を強調する</p> <p>一つの場所を多目的に使わないようにする</p> <p>「どうやって」「どうなったら終わりの」「次に何をやる」をわかるように工夫する</p> <p>固ったときに誰にどう伝えたらいいかを具体的に伝える</p> <p>環境を整え、刺激を少なくする</p> <p>活動の量やシグなどの工夫をする</p> <p>椅子や材料などの配置を工夫する</p>
コミュニケーション の 特 性	<p>ヘルパーに質問されても身体を揺らしている</p> <p>ヘルパーの言葉をオウム返りする</p> <p>ヘルパーの質問にエコラリアで答えている</p> <p>ヘルパーが顔を覗いても視線が合わない</p> <p>ヘルパーが話しかけてもやり取りが出来ない</p>	<p>✓ <b>話し言葉の理解が難しい</b></p> <p>抽象的でない言葉の表現の理解が難しい</p> <p>言葉を通じるのに時間がかかる</p> <p>手裏通りの理解をする/耳話や視覚的な理解が難しい</p> <p>相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい</p> <p>✓ <b>相手の表情や視線、声質などから意図をとらえるのが苦手である</b></p> <p>かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない</p> <p>相手の言葉を繰り返したりコマースルのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない</p> <p>✓ <b>話し言葉の理解が難しい</b></p> <p>✓ <b>やり取りすること自体の意味が分からない</b></p> <p>理解と発信のアンバランスさが大きい</p> <p>場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない</p>	<p>生かせる強みがある（何個から）</p> <p>好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある</p> <p>✓ <b>本人が使いやすいツール（文庫、単語、絵、写真、シンボル、身体動作）を提供する</b></p> <p>✓ <b>伝える速さに調整する</b></p> <p>理解できるまで待つ</p> <p>✓ <b>だれに、どうやって伝えるか具体的に示す</b></p> <p>忘れたときに思い出させる工夫を用意する</p> <p>本人の記憶力に合わせて会話のペースを調整する</p>
想像力 の 特 性		<p>見えないものの理解が難しい</p> <p>自分のルールを伝えられることに強い困惑を感じる</p> <p>要請しが待てないことに不安を感じる</p> <p>日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い</p> <p>活動の途中で止められることに抵抗を感じる</p> <p>初めての場面で苦手である</p> <p>段取りを組んだり、優先順位をつけたりすることが苦手である</p> <p>なんともなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい</p> <p>興味関心が狭くて深く、興味の対象に教育的になることもある</p> <p>細かいことが気になって抜けられなくなってしまう</p> <p>同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある</p> <p>情報の多いものの処理が苦手である</p> <p>複数の情報を同時に処理することが苦手である</p> <p>今あるいはさきのこととをすぐに忘れてしまう</p> <p>過去のあるべきことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある</p> <p>部分的な処理が強く全体の理解が苦手である</p> <p>ものごとの関連性をとらえにくい</p>	<p>生かせる強みがある（何個から）</p> <p>最初から正しい方法で学べる準備をする</p> <p>予告を複数回を行い、成功につながる手がかりを提供する</p> <p>忘れてしまったらできるように、手がかりが見えるようにする</p> <p>定例的な方法を統一する</p> <p>相手の提示なのか活動の選択なのかを明確にする</p> <p>本人の興味関心に合わせて提示（ごほうびの活用）を行う</p> <p>ごほうび等を活用して活動に意味をもたせる</p> <p>変わらぬものは習慣化できるようにする</p> <p>忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする</p> <p>その他</p>
感覚 の 特 性		<p>感覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が嫌い、特定の音を大音量で聞きたいなど）</p> <p>視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見たくるなど）</p> <p>触覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みに鈍感など）</p> <p>嗅覚の過敏や鈍麻がある（種類に強い臭いがある、刺激臭を好むなど）</p> <p>味覚の過敏や鈍麻がある（辛い食べ物がある、特定の味の強い味を好むなど）</p> <p>音が回りにくく、乗り物酔いが起きやすい、体を揺らしたがる、高い場所が苦手など</p> <p>手をかきにくく体温調節が苦手、気圧の変化に弱いなど</p> <p>力加減がうまくできないなど</p> <p>疲労やストレスが感覚の過敏や鈍麻に影響をもたらす</p> <p>つまむなど細かい手先の使い方が不慣れである</p> <p>右手と左手を協応させて操作することが苦手である</p> <p>道具を上手に使うことが難しい</p> <p>立位や座位など、姿勢の維持が難しい</p> <p>身体が動かし方がわからない</p> <p>演技などの運動が苦手である</p> <p>身体運動が上手にできない</p>	<p>生かせる強みがある（何個から）</p> <p>必要な刺激は保証する</p> <p>苦手な刺激を少なくするための配慮（イヤーマフ・サングラスなど）をする</p> <p>他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる</p> <p>適切な場所の確保を行う</p> <p>その他</p>
<p>＜得意なこと・強み・できること・好きなことなど＞</p>		<p><b>好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある</b></p>	

診断の基準に 関係する項目 <input type="checkbox"/>		【2】 その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	<input type="checkbox"/> 【3】 支援のアイデア
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>話し言葉の理解が難しい</b>	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（☆欄から） <b>好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある</b>
	<input type="checkbox"/>	抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	<input type="checkbox"/>	言葉を処理するのに時間がかかる	
	<input type="checkbox"/>	字義通りの理解をする／冗談や慣用句などの理解が難しい	<input checked="" type="checkbox"/> <b>本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等）を提供する</b>
	<input type="checkbox"/>	相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい	<input checked="" type="checkbox"/> <b>伝える量に配慮する</b>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である</b>	<input type="checkbox"/> 伝える速さを調整する
	<input type="checkbox"/>	かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない	<input type="checkbox"/> 理解できるまで待つ
	<input type="checkbox"/>	相手の言葉を繰り返したりコマースシャルのフレーズは言えても、言葉で伝えられない	<input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>誰に伝えていいのかわからない</b>	<input checked="" type="checkbox"/> <b>だれに、どうやって伝えるか具体的に示す</b>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>やりとりをすること自体の意味がわからない</b>	<input type="checkbox"/> 忘れたときに思い出すせる工夫を用意する
	<input type="checkbox"/>	理解と発信のアンバランスさが大きい	<input type="checkbox"/> 会話も見えるツールで支援する
	<input type="checkbox"/>	場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	<input type="checkbox"/> 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
	<input type="checkbox"/>		

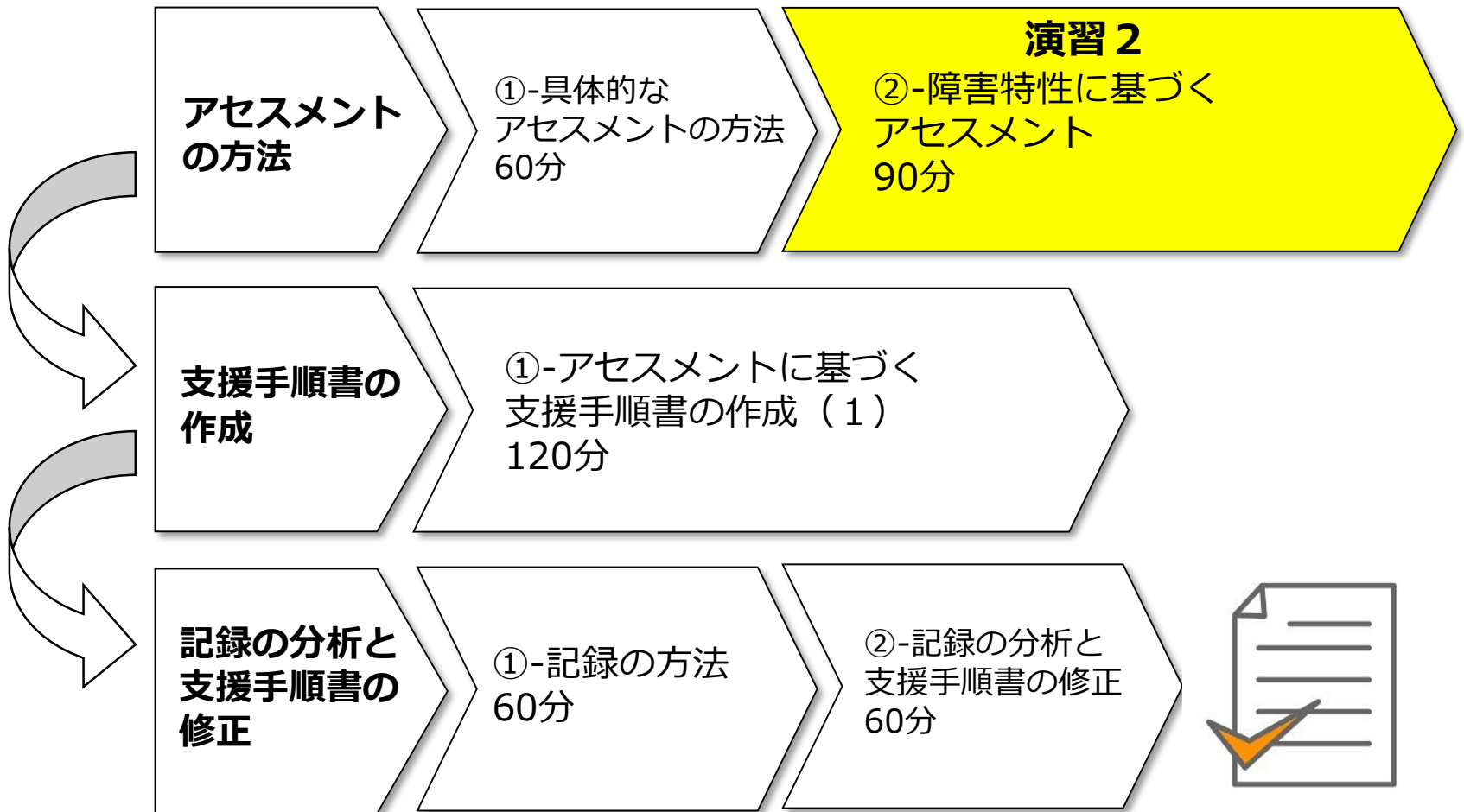


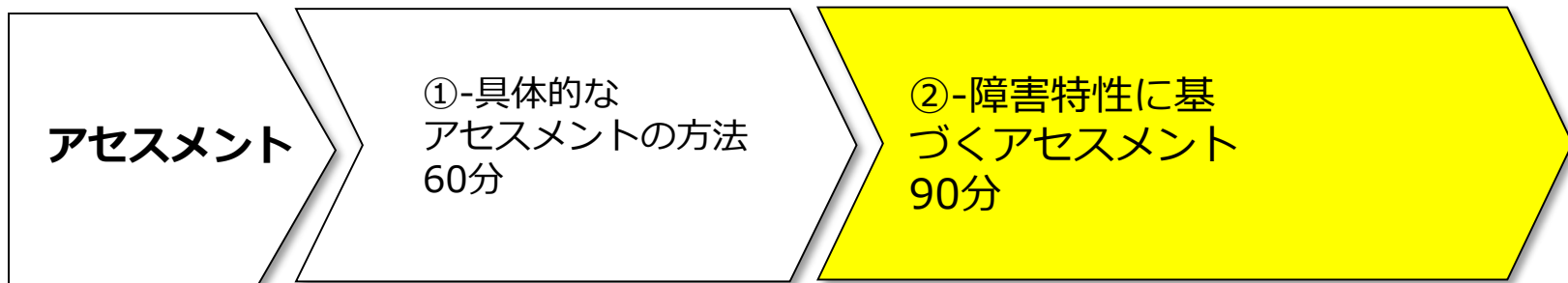
# 演習 2 アセスメントの方法Ⅱ

## 障害特性に基づくアセスメント

社会福祉法人 武蔵野  
ワークセンター大地  
副施設長 早川 友紀

# 演習の流れ





i) インフォーマルアセスメント

- 「行動チェックシート」の作成
- 「特性確認シート」の作成

ii) 特性確認シートを支援手順書につなげる

- 「冰山モデル」について
- 「冰山モデル」の作成

**i) インフォーマルアセスメント**

# 「行動チェックシート」 「特性確認シート」の作成



今度は、個人で作成します

使用シート資料 3 「個人ワーク用行動チェックシート」 A3  
「個人ワーク用特性確認シート」 A4

参考シート資料 1 「STさん基本情報シート」 A4

STさんの外出場面③「購入する」を使って、「コミュニケーションの特性」をアセスメントします。

1. 「購入する」場面の動画を視聴した後、「コミュニケーションの特性」部分の「現れている行動の例」をチェック☑し、「具体的な行動」を記入する。
2. 行動チェックシートの具体的な行動を特性確認シートに転記する。
3. 「その行動の背景にある要因として考えられること」をチェックする。
4. 有効だと考えられる「支援のアイデア」をチェックする。
5. 支援に活用できそうな本人の「強み」をピックアップする。

# 動画の視聴

# 1. 「コミュニケーションの特性」部分の「現れている行動の例」をチェック☑し、「具体的な行動」を記入します。

行動チェックシート

観察の事実に関する項目		行動チェック
社会的状況	人	想定される行動や反応の例
	人	一方的に話したり、黙黙したりすることが多い
	人	相手の話に対しては早急としている
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
社会的状況	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
コミュニケーションの特性	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない
	人	相手の話を聞いていても理解をしない



診断の基準に関する項目		行動チェック
コミュニケーションの特性	理解が難しい	想定される行動や減少の例
		具体的行動
		指示と違った行動が目立つ
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある
		相手の表情や視線等に反応が薄い
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる
		文章が長くなると理解が浅くなる
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある
		言葉の意味を勘違いすることが多い
コミュニケーションの特性	発信が難しい	「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない
		言葉を字義通りに受け取ることがある
		かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りがたくなると「りんご」と言う）
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）
		返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い
		文法が使えない（単語、二語文等）
コミュニケーションの特性	やり取りが難しい	目標が合わないことが多い
		やり取りがうまく合っていない
		やり取りが続かない
		唐突に話し始めることがある
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している
		理解と発信のアンバランスさが大きい

# 「購入する」場面の、次のような行動に注目してみましょう

診断の基準に 関する項目		行動チェック	
		想定される行動や減少の例	具体的な行動
コミュニケーションの 特性	理解が 難しい	指示と違った行動が目立つ	
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある	
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある	
		相手の表情や視線等に反応が薄い	
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる	
		文章が長くなると理解が浅くなる	
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある	
		言葉の意味を勘違いすることが多い	
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない	
		冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない	
		言葉を字義通りに受け取ることがある	
	発信が 難しい	かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある	
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す	
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（帰りたくなると「りんご」と言う）	
		言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）	
		返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い	
		この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い	
		文法が使えない（単語、二語文等）	
	やり取りが 難しい	目線が合わないことが多い	
		やり取りがかみ合っていない	
		やり取りが続かない	
		唐突に話し始めることがある	
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している	
		理解と発信のアンバランスさが大きい	
			「チキンとハンバーガーどっちがいいですか？」というヘルパーの問いかけに対して →
			「コーラでいいですか？」というヘルパーの問いかけに対して →
			カメラを気にしている本人をヘルパーが腕を持って引き寄せると →
			声をかけながらヘルパーがお金を渡そうとすると →
			ヘルパーが話しかけたり、はたらきかけたりすると →



## 2. 「具体的な行動」を特性確認シートに転記します

## 行動チェックシート

[illegible]

特性確認シート

[illegible]

＜個人ワーク用＞

### 3. 「その行動の背景にある要因として考えられること」をチェックする

診断の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン の 特 性	<p>「チキンとハンバーガーどっちがいいですか？」というヘルパーの問いかけに対して →</p> <p>「コーラでいいですか？」というヘルパーの問いかけに対して →</p> <p>カメラを気にしている本人をヘルパーが腕を持って引き寄せると →</p> <p>声をかけながらヘルパーがお金を渡そうとすると →</p> <p>ヘルパーが話しかけたり、はたらきかけたりすると →</p>	<input type="checkbox"/> 話し言葉の理解が難しい <input type="checkbox"/> 抽象的であいまいな表現の理解が難しい <input type="checkbox"/> 言葉を処理するのに時間がかかる <input type="checkbox"/> 字義通りの理解をする／冗談や慣用句などの理解が難しい <input type="checkbox"/> 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい <input type="checkbox"/> 相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である <input type="checkbox"/> かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない <input type="checkbox"/> 相手の言葉を繰り返したりコマーシャルのフレーズは言えても、言葉で伝えられない <input type="checkbox"/> 誰に伝えていいのかわからない <input type="checkbox"/> やりとりをすること自体の意味がわからない <input type="checkbox"/> 理解と発信のアンバランスさが大きい <input type="checkbox"/> 場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

# 4.有効だと考えられる「支援のアイデア」を チェックする。

診断の基準に 関係する項目		【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	<input type="checkbox"/>	話し言葉の理解が難しい	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある (☆欄から)
	<input type="checkbox"/>	抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	<input type="checkbox"/>	言葉を処理するのに時間がかかる	<input type="checkbox"/> 本人が使いやすいツール (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等) を提供する
	<input type="checkbox"/>	字義通りの理解をする/冗談や慣用句などの理解が難しい	
	<input type="checkbox"/>	相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい	
	<input type="checkbox"/>	相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である	
	<input type="checkbox"/>	かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない	
	<input type="checkbox"/>	相手の言葉を繰り返したりコマースシャルのフレーズは言えても、言葉で伝えられない	
	<input type="checkbox"/>	誰に伝えていいのかわからない	
	<input type="checkbox"/>	やりとりをすること自体の意味がわからない	
	<input type="checkbox"/>	理解と発信のアンバランスさが大きい	
	<input type="checkbox"/>	場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	
	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 伝える量に配慮する	
		<input type="checkbox"/> 伝える速さを調整する	
		<input type="checkbox"/> 理解できるまで待つ	
		<input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする	
		<input type="checkbox"/> だれに、どうやって伝えるか具体的に示す	
		<input type="checkbox"/> 忘れたときに思い出させる工夫を用意する	
		<input type="checkbox"/> 会話も見えるツールで支援する	
		<input type="checkbox"/> 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする	

5. 支援に活用できそうな本人の「強み」をピックアップする。

評価する項目	具体的な行動	(認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)		(認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)
社会的 性の 特性		一人であることや自分のペースで過ごすことを好む 人とかわかることに対する不安が大きい 自分のことを伝えたくて他者へのかかわりが一方向になる 相手の立場や気持ちをとらえきれない 周囲で起きていることへの関心が高い 人の多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが苦手である 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい 待つことが苦手である 自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう 危険や善悪、周囲の状況に関係なく、悪いと思ったらすぐに行動する 独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい 文字や数などの理解が難しい いっしょに同じものを見て共感的に気持ちを通わせることが難しい ひとつの活動への集中を持続することが難しい いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない 見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある） 見る方向が定まらない 別のところに視点转移することが難しい		生かせる強みがある（例から）  自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える 毎日すべき場所を確保する 一つの場所を多目的に使わないようにする 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何を」をわかるように工夫する 困ったときに誰にどう伝えたらいいかを具体的に伝える 環境を整え、刺激を少なくする 活動の量やシグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する
コミュ ニケー ション の 特性		話し言葉の理解が難しい 抽象的であいまいな表現の理解が難しい 言葉を処理するのに時間がかかる 字義通りの理解をする／冗談や慣用語などの理解が難しい 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい 相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である かしこくや相手の手を引く等の視覚があっても、意味理解が少ない 相手の言葉を聞き流したりコメントのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない 顔に伝えていないのかわからない やりとりをするごとく自分の意味がわからない 理解と真偽のアンパラスキが大きい 場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない		生かせる強みがある（例から）  <b>好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある</b>  本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具象物等）を提供する 伝える順に配慮する 伝える速さを調整する 理解できるまで待つ 環境を整え、刺激を少なくする だれに、どうやって伝えようかを具体的に示す 置かれたときに思い出すさせる工夫を用意する 会話も見えるツールで支援する 本人の発達速度に合わせて会話のペースを設定する
想像 力の 特性		見えないものの理解が難しい 自分のルールを受け入れることに強い拒否を感じる 意識しが持たないことに不安を感じる 目線が変わる、担当書が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い 活動の途中で止められることに抵抗を感じる 初めての場面で苦手である 段取りを組み立て、優先順位をつけることが苦手である なんとなく、たいしたイメージを持ちにくい 興味関心の狭さで長く、興味の持続性に後向きになることもある 細かいことが原因になって逃げられくなってしまふ 同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある 情報の多いものの処理が苦手である 複数の情報を同時に処理することが苦手である 今あるいはきつこのことをすくすく覚えていて、フラッシュバックすることもある 部分的な短気強く全体の理解が苦手である ものごとの関連性をとらえにくい		生かせる強みがある（例から）  最初から正しい方法で学べる準備をする 予告を視覚的に先行し、成功につながる手がかりを提供する 置かれて活動できるように、手がかりが見えるようにする 変更した方法を統一する 本人が指示なのかなど判断の迷ひめを明確にする 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせた提示（ごまかうの活用）を行う ごまかう等を活用して活動に習慣化をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 置れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
感 覚 の 特性		聴覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が嫌い、特定の音を大音量で聞きたいなど） 視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見えなくなるなど） 触覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みに敏感など） 嗅覚の過敏や鈍麻がある（匂いに強い興味がある、刺激臭を好むなど） 味覚の過敏や鈍麻がある（辛い食べ物がある、特定の種類の調味料を好むなど） 目の回りにくい、乗り物酔いや眩暈に弱い、体を揺らしたがる、高い場所が好きなど 汗をかきにくくて体温調節が苦手、風圧の変化に弱いなど 加減感がうまくできないなど 疲労やストレスが感覚の過敏や鈍麻に影響をもたらす つまむなど細かい手先の使い方が不得手である 右手と左手を協同させて操作することが苦手である 道具を上手に使うことが難しい 立位や歩行など、姿勢の維持が難しい 身体の動かし方がぎこちない 球技などの運動が苦手である 身体模倣が上手にできない		生かせる強みがある（例から）  必要な刺激は保証する 本人が嫌いな音や光などの配慮（イヤーマフ・サングラスなど）をする 個別対策で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確保を行う その他

※得意なこと、強み・  
できること、好きなことなど

好きな店のロゴを見て笑ったり、好きな公園の写真を見て期待する素振りを見せたことがある

# 「特性確認シート」の作成



今回は、グループで作成します

使用シート 資料4「グループワーク用行動チェックシート」A4  
「グループワーク用特性確認シート」A3

「購入する」場面を使ってグループでアセスメントをします。

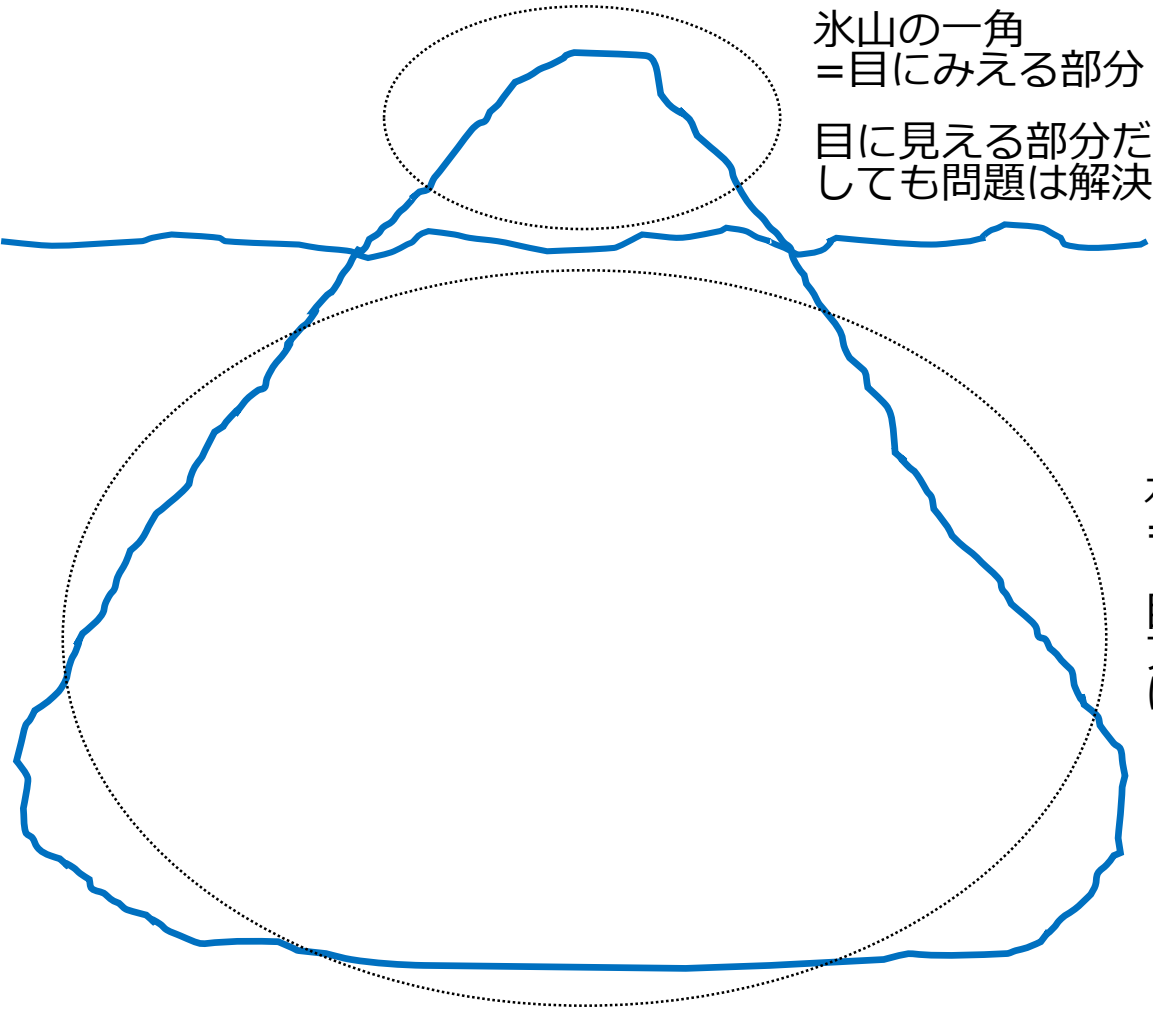
1. グループで自己紹介
2. 役割分担（司会・記録・発表）
3. 個人ワークの共有
4. グループでまとめる

**ii ) 特性確認シートを支援手順書  
につなげる**

# 冰山モデルについて

参考シート 資料5 「STさん行動チェックシート」 A4  
「STさん特性確認シート」 A3  
資料6 「見本用冰山モデルシート」 A4

# 行動の背景を知るための「冰山モデル」

A diagram of an iceberg model. A blue line represents the surface of the iceberg, with a jagged, irregular shape. A horizontal line represents the water surface. The part of the blue line above the water surface is circled with a dotted line. The part of the blue line below the water surface is enclosed by a larger dotted oval. The text is placed to the right of the diagram.

氷山の一角  
=目にみえる部分

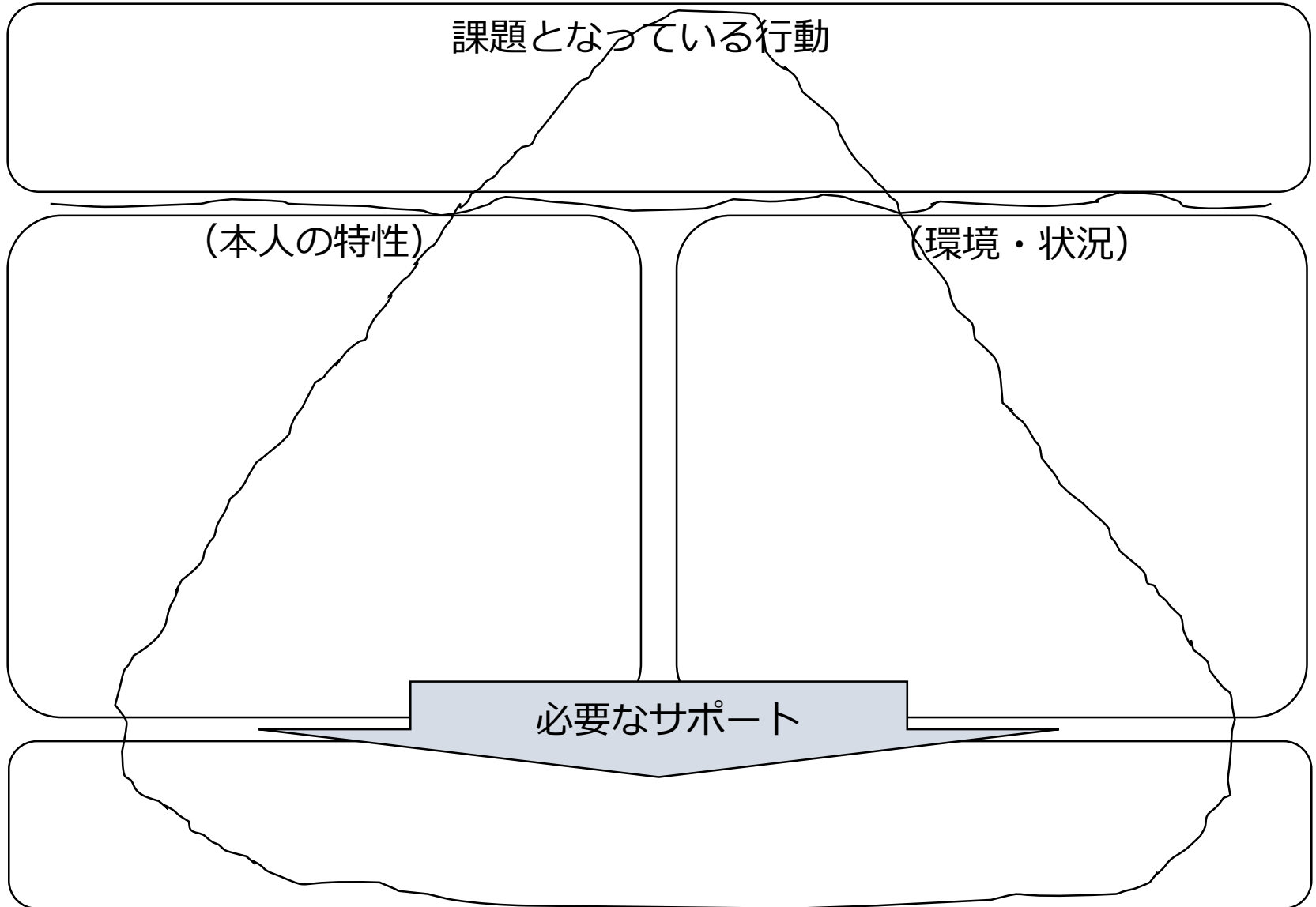
目に見える部分だけに対応を  
しても問題は解決しない。

水面下に大きな塊がある  
=目にみえない部分

目に見えない部分を理解して  
アプローチすることで、表面  
に出ている問題が小さくなる。



# 冰山モデルシート



# 冰山モデルシート

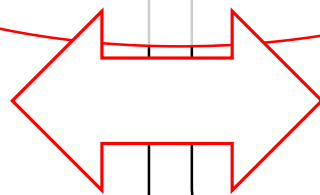
課題となっている行動

強度行動障害

(本人の特性)

(環境・状況)

強度行動障害は特性  
と環境のミスマッチ  
から生じる



必要なサポート

本人の障害特性に  
合わせたサポート  
を考える

# 冰山モデルシート

課題となっている行動

強度行動障害

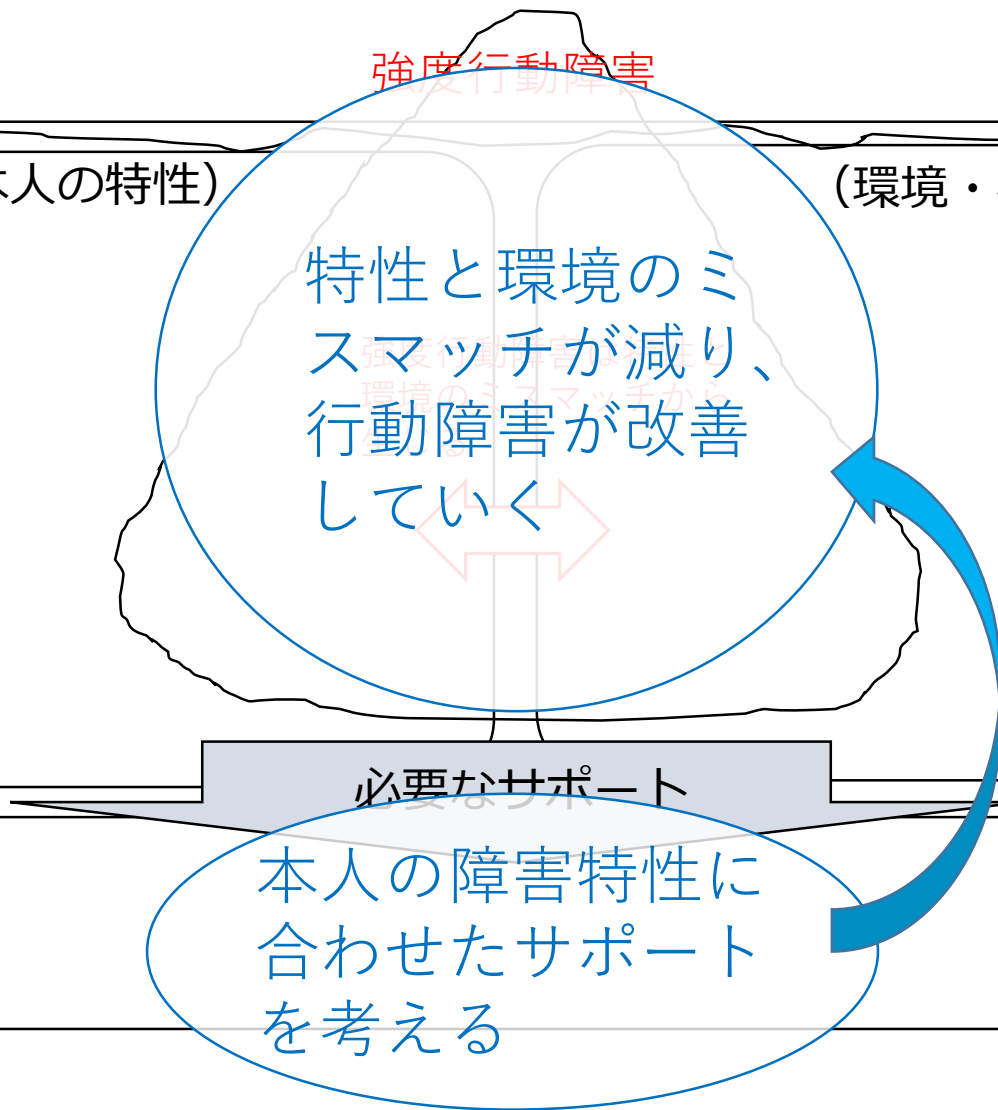
(本人の特性)

(環境・状況)

特性と環境のミスマッチが減り、  
行動障害が改善していく

必要なサポート

本人の障害特性に  
合わせたサポート  
を考える



# 課題となっている行動を記入します

課題となっている行動

課題となる行動を記入する

(本人の特性)

(環境・状況)

必要なサポート

# 本人の特性を記入します

課題となっている行動

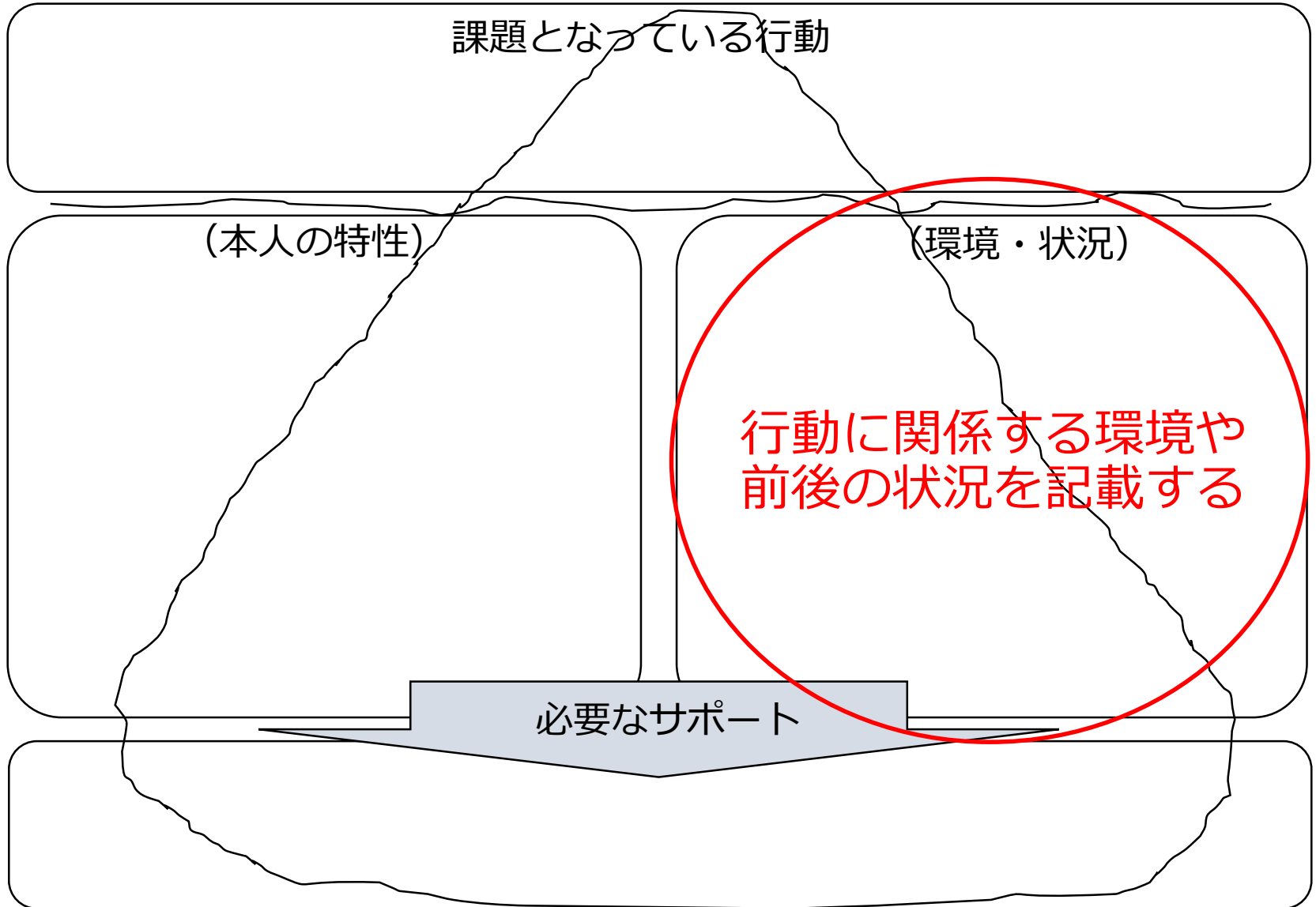
(本人の特性)

(環境・状況)

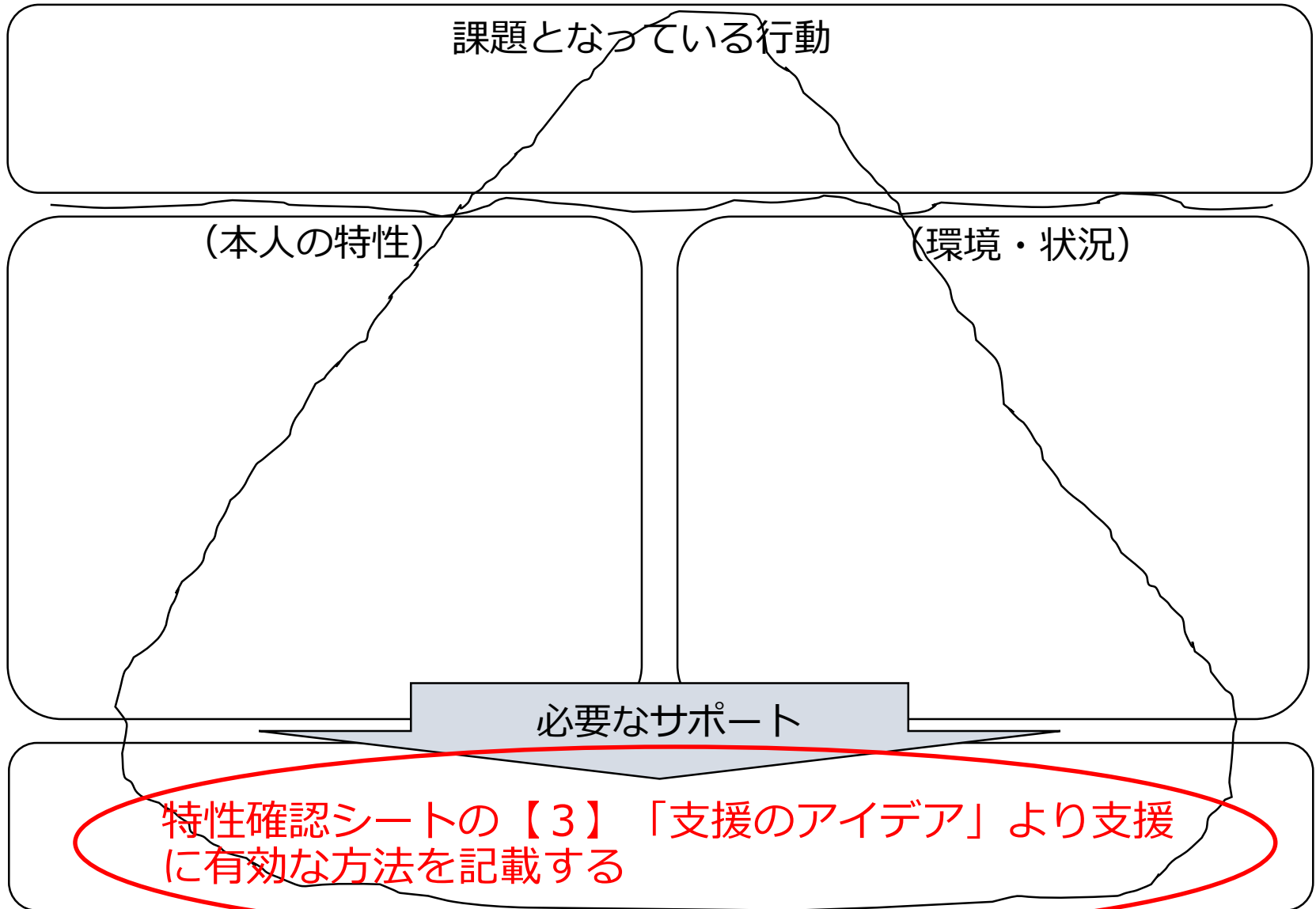
特性確認シートより  
【2】行動に関連する  
障害特性(その人の  
要因)を記載する

必要なサポート

# 環境・状況を記入します



# 必要なサポートを記入します



# 「冰山モデルシート」の作成



まずは講師がやってみます

①「予定を確認する」を使って冰山モデルを作成します。

1. 課題となる行動を設定して記入する。
2. 特性確認シートより行動の背景にある要因として考えられる本人の特性を記入する。
3. 動画より関連する環境や状況を記入する。



# 1. 課題となっている行動を記入します

課題となっている行動

①場面「落ち着いて予定を確認できない。」

(本人の特性)

(環境・状況)

必要なサポート

**2. STさん特性確認シートより行動の  
背景にある要因として考えられる  
ことを記入します。**

# STさん行動 チェックシート

診断の基準に 関する項目		行動チェック	
		想定される行動や減少の例	具体的な行動
社会性の 視点	人 や 集 団 と の 関 係 に 難 し さ	一方的に話したり、質問したりすることが多い	
		相手が怒っていても平然としている	
		相手が嫌がっていても行動を止めない	✓
		一人でいることを好む	
		同世代の人と上手く付き合えない	
		人が多いところや騒がしいところで落ち着かなくなる	
	状 況 の 理 解 の 難 し さ	集団での活動や遊びを嫌う	
		他者が求めている行動と違う行動をすることが多い	✓
		年齢に相応しい趣味や遊びが見られない	
		安全に遊んだり、活動したり出来ない	
		他人に迷惑をかけてしまう活動や遊びが多い	
		周りの目を気にしない言動や行動が多い	✓
		周囲の状況に対して興味を示さない	
		日中活動への参加に拒否が強い	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	理 解 が 難 し い	指示と違った行動が目立つ	✓
		決まり決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある	
		話の理解が部分的で会話が進まないことがある	
		相手の表情や視線等に反応が薄い	✓
		相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる	
		文章が長くなると理解が浅くなる	
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある	✓
		言葉の意味を勘違いすることが多い	
		「ちょっと」「ゆっくり」「少し」などの曖昧な表現が理解できない	
	発 信 が 難 し い	冗談や駄洒落、慣用句等が理解できない	
		言葉を手紙通りに受け取ることがある	
		かんしゃくやパニック、クレーン等、行動で気持ちを伝えることがある	
		コマーシャルやアニメの台詞を繰り返す	
		独特な言い回しで気持ちを伝えようとする（嫌いだとなると「りんご」と言う）	
や り 難 し い	言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ）		
	返事が相手の言葉の繰り返しになることが多い	✓	
	この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い		
	文法が使えない（単語、二語文等）		
想 像 力 の 特 性	変 化 に 難 い	目標が合わないことが多い	✓
		やり取りがかみ合っていない	✓
		やり取りが続かない	
		唐突に話し始めることがある	
		自分が知っていることは相手も知っていると言う前提で話している	
	復 讐 的 な 行 動	理解と発露のアンバランスさが大きい	
感 覚 の 特 性	変 化 に 難 い	自分のルールを変えると混乱することが多い	
		日課が変更されると混乱することが多い	
		担当者が変わると混乱することが多い	
		活動や食事等の場所が変わると混乱することが多い	
		活動を途中で中断されると混乱することが多い	✓
	復 讐 的 な 行 動	新しい場面や活動のときに混乱することが多い	
感 覚 の 特 性	感 覚 が 鈍 感	標識、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返し等、物事の一部分に執着する	
		自分の興味があるもの以外に関心を示すことが少ない	
		細かいことが気になって、活動が途中で止まることがある	
		無視しているような反応を示すことがある	
感 覚 の 特 性	感 覚 が 鈍 感	同じ位置に置きたい、同じ角度にしたい等のこだわりが強い	
		同じ行動や活動を長時間続ける傾向になる	✓
		同じ言葉を何度も繰り返す	
		手順や日課、道順等でマイルールを多く持っている	
感 覚 の 特 性	感 覚 が 鈍 感	耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、恐がる、特定の音を大音量にしたがる	
		眩しい様子が見られる、眼を閉じる、帽子やフードを目深に被る、キラキラに没頭する	
		同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などに抵抗がある	
		刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌う	
		著しい偏食がある、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる	
		目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好き	✓
	体温調節や気圧への変化に敏感		

# STさん特性確認シート

診断の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
社会性 の 特 性	ヘルパーから質問されても身体を動かしている ヘルパーが隣を離れても視線が合わない 話しかけてもやり取りが出来ていない 周りから注目されても気にしない	<input type="checkbox"/> 一人でいることや自分のペースで過ごすことを好む <input type="checkbox"/> 人とかわかることに対する不安が大きい <input type="checkbox"/> 自分のことを伝えたくて他者へのかわりが一方的になる <input checked="" type="checkbox"/> 相手の立場や気持ちをとらえきれない <input checked="" type="checkbox"/> 周囲で起きていることへの関心が薄い <input type="checkbox"/> 人の多いところが苦手である <input type="checkbox"/> 相談の人といっしょに活動することが苦手である <input checked="" type="checkbox"/> 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である <input type="checkbox"/> 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい <input type="checkbox"/> 待つことが苦手である <input type="checkbox"/> 自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう <input type="checkbox"/> 危険や障害、周囲の状況に関係なく、思い立ったらすぐに行動する <input type="checkbox"/> 独特の思考や考え方があり、提示された方法を真取り入れにくい <input type="checkbox"/> 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい <input type="checkbox"/> 文字や数などの理解が難しい <input type="checkbox"/> いっしょに同じものを見て共感的に気持ちを通わせることが難しい <input type="checkbox"/> ひとつの活動への集中を持続することが難しい <input type="checkbox"/> いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい <input checked="" type="checkbox"/> どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない <input type="checkbox"/> 見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある） <input type="checkbox"/> 見る方向が定まらない <input type="checkbox"/> 別のところに視点を移すことが難しい	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（※観察から） <input type="checkbox"/> 自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える <input type="checkbox"/> 自分の心と体を休められる場所を用意する <input checked="" type="checkbox"/> 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える <input checked="" type="checkbox"/> 視目すべき場所を強調する <input type="checkbox"/> 一つの場所を多目的に使わないようにする <input type="checkbox"/> 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何を」をわかるように工夫する <input type="checkbox"/> 困ったときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える <input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする <input type="checkbox"/> 活動の順序やシグなどの工夫をする <input type="checkbox"/> 椅子や材料などの配置を工夫する
コミュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	ヘルパーから質問されても身体を動かしている ヘルパーが隣を離れても視線が合わない ヘルパーの質問に対してオウム返ししている ヘルパーが隣を離れても視線が合わない 話しかけてもやり取りが出来ていない	<input checked="" type="checkbox"/> 話し言葉の理解が難しい <input type="checkbox"/> 社会的で思いやりのない表現の理解が難しい <input type="checkbox"/> 言葉を処理するのに時間がかかる <input type="checkbox"/> 字義通りの理解をする/訂正や慣用語などの理解が難しい <input checked="" type="checkbox"/> 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい <input type="checkbox"/> 相手の表情や視線、声調などから意図をとらえることが苦手である <input type="checkbox"/> かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない <input type="checkbox"/> 相手の言葉を繰り返したりコマースのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない <input checked="" type="checkbox"/> 語に伝えていいかわからない <input type="checkbox"/> やりとりをすること自体の意味がわからない <input type="checkbox"/> 理解と発信のアンバランスが大きい <input type="checkbox"/> 構文や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（※観察から） <input checked="" type="checkbox"/> 本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等）を提供する <input checked="" type="checkbox"/> 伝える前に配慮する <input type="checkbox"/> 伝える速さを調整する <input type="checkbox"/> 理解できるまで待つ <input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする <input checked="" type="checkbox"/> だれに、どうやって伝えるかを具体的に示す <input type="checkbox"/> 忘れたときに思い出させる工夫を用意する <input type="checkbox"/> 会話も見えやすいツールで支援する <input type="checkbox"/> 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
想像 力 の 特 性	身体を動かすことをやめられない ずっとと身体を動かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい <input checked="" type="checkbox"/> 自分のルールを変えられることに強い困惑を感じる <input type="checkbox"/> 共通しが持てないことに不安を感じる <input type="checkbox"/> 日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更が強い <input type="checkbox"/> 活動の途中で止められることに抵抗を感じる <input type="checkbox"/> 初めての場面が苦手である <input type="checkbox"/> 段取りを組んだり、優先順位をつけたりすることが苦手である <input type="checkbox"/> なんともなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい <input type="checkbox"/> 興味関心が狭く強く、興味の対象に執着になることもある <input type="checkbox"/> 忘れたことが気になって取られなくなってしまふ <input type="checkbox"/> 同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある <input checked="" type="checkbox"/> 情報の多いものの処理が苦手である <input type="checkbox"/> 複数の情報を同時に処理することが苦手である <input type="checkbox"/> 今あるいはさきのこととすぐに忘れてしまふ <input type="checkbox"/> 過去のあてきことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある <input type="checkbox"/> 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である <input type="checkbox"/> ものごとの関連性をとらえにくい	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（※観察から） <input checked="" type="checkbox"/> 最初から正しい方法で学べる準備をする <input checked="" type="checkbox"/> 予告を視覚的に行い、成功につながる手がかりを提供する <input type="checkbox"/> 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする <input type="checkbox"/> 変更の教え方を統一する <input type="checkbox"/> 順番の指示なのか活動の選択なのかを明確にする <input type="checkbox"/> 環境を整え、刺激を少なくする <input checked="" type="checkbox"/> 本人の興味関心に合わせて提示（ごほうびの活用）を行う <input type="checkbox"/> ごほうび等を活用して活動に意味をもたせる <input type="checkbox"/> 変わらないものは習慣化できるようにする <input type="checkbox"/> 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする <input type="checkbox"/> その他
感 覚 の 特 性	身体を動かすことをやめられない	<input type="checkbox"/> 聴覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が嫌い、特定の音が大音量で聞きたいなど） <input type="checkbox"/> 視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見にくくなるなど） <input type="checkbox"/> 触覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みに鈍感など） <input type="checkbox"/> 嗅覚の過敏や鈍麻がある（匂いに慣れないがある、刺激臭を好むなど） <input type="checkbox"/> 味覚の過敏や鈍麻がある（新しい味がある、特定の刺激の強い味を好むなど） <input checked="" type="checkbox"/> 目が固くにくい、乗り物酔いが頻発に激しい、体を揺らしたがる、高い場所が好きなど <input type="checkbox"/> 汗をかきにくく体温調節が苦手、気圧の変化に弱いなど <input type="checkbox"/> 力加減がうまくできないなど <input type="checkbox"/> 疲労やストレスが感覚の過敏や鈍麻に影響をもたらす <input type="checkbox"/> つまむなど細かい手先の使い方が不達手である <input type="checkbox"/> 右手と左手を協応させて操作することが苦手である <input type="checkbox"/> 道具を上手に使うことが難しい <input type="checkbox"/> 立位や座位など、姿勢の維持が難しい <input checked="" type="checkbox"/> 身体を動かした方がきこえない <input type="checkbox"/> 四肢などの運動が苦手である <input type="checkbox"/> 身体振動が上手にできない	<input type="checkbox"/> 生かせる強みがある（※観察から） <input checked="" type="checkbox"/> 必要の刺激を軽減する <input type="checkbox"/> 苦手な刺激を少なくするための配慮（イヤーマフ、サングラスなど）をする <input type="checkbox"/> 他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる <input type="checkbox"/> 避難場所の確保を行う <input type="checkbox"/> その他
小得意なこと・強み・ できること・好きなことなど			

課題となっている行動

# ①場面「落ち着いて予定を確認できない。」

(本人の特性)

- 話し言葉の理解が難しい
- 見えないものの理解が難しい
- どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない
- 情報の多いものやその処理が苦手である

(環境・状況)

必要なサポート

**3. 動画より関連する環境や  
状況を記入します。**

課題となっている行動

## ①場面「落ち着いて予定を確認できない。」

### (本人の特性)

- 話し言葉の理解が難しい
- 見えないものの理解が難しい
- どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない
- 情報の多いものやその処理が苦手である

### (環境・状況)

- ヘルパーは言葉で説明している
- いつもと違う状況で説明している
- 気になるものが多い

必要なサポート

# 「冰山モデルシート」の作成



今度は、個人で作成します

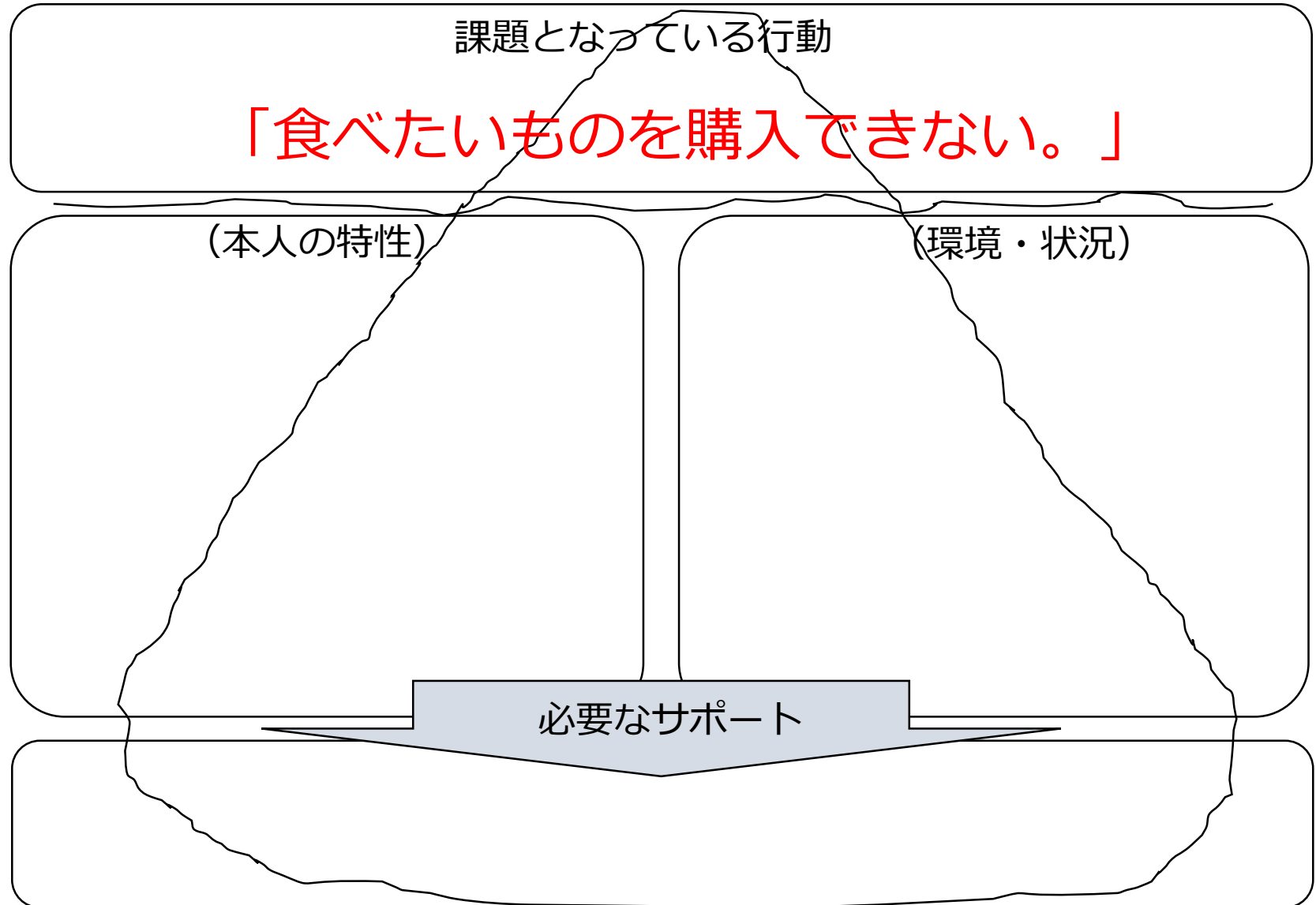
使用シート 資料7「個人ワーク用冰山モデルシート」A4

③「購入する」場面を使って個人で冰山モデルを作成します。

1. 課題となる行動はあらかじめ設定している。
2. 特性確認シートより関連する障害特性を記入する。
3. 動画より関連する環境や状況を記入する。



# 1. 課題となっている行動を記入します。



## 2. 「特性確認シート」より関連する「障害特性」を記入します。

診断の基準に 関係する項目	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶・注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
社会性 の 特 性	ヘルパーと一緒にメニューを見れない 注文の意味を理解していない 手洗いの意図が分かっていない ヘルパーが声をかけてもやり取りが出来ていない 待っている時に床に片膝をつく	一人でいることや自分のペースで過ごすことが好き 人とかわかることに対する不安が大きい 自分のことを伝えたくて他者へのかわりが一方的になる レ 相手の立場や気持ちをとらえない レ 周囲で起こっていることへの関心が薄い レ 人の多いところが苦手である 他者の人といっしょに活動することが苦手である 周囲から期待される行動を理解するのが苦手である レ 他者に求められていることと自分で求められていることの区別が難しい レ 待つことが苦手である 自由時間をどう過ごしていいか困惑してしまう 危険や善悪、周囲の状況に関係なく、思いついたらすぐに行動する 独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい 文字や数などの理解が難しい レ いっしょに同じものを見て共感的に気持ちを通わせることが難しい ひとつの活動への集中を持続することが難しい いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい レ どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない 見ている範囲が狭い（目に入っていないところがある） 見る方向が定まらない 別のところに視点を移すことが難しい	生かせる強みがある（〆欄から） 自分と周囲との関係や感情などを見る形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える レ 各自すべき場所を強調する 一つの場所を多目的に使わないようにする 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何をやる」をわかるように工夫する 困ったときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える レ 環境を整え、刺激を少なくする 活動の量やシグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する
コミュ ニ ケ ー シ ョ ン の 特 性	「手を洗って来ましょう」というヘルパーに言われてもすぐに行動できない 「チキンとハンバーガーどっちがいいですか？」の質問に対してエコラリアで回答している 「コーラでいいですか？」の質問に対してエコラリアで回答している 腕を引き寄せられたり声をかけられると床に片膝をつく ヘルパーが顔を覗き込んでも支援が合わない ヘルパーが声をかけてもやり取りが出来ていない	レ 話し言葉の理解が難しい 抽象的であいまいな表現の理解が難しい 言葉の処理するのに時間がかかる 言葉通りの理解をする/冗談や慣用語などの理解が難しい レ 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい 相手の表情や視線、声調などから意図をとらえることが苦手である レ かんしゃくや相手の手を引く等の表現があっても、表現手段が少ない 相手の言葉を繰り返したりコマシヤルのフレーズは覚えても、言葉で伝えられない レ 誰に伝えていいかわからない レ やりとりをすること自体の意味がわからない 理解と発信のアンバランスが大きい 場面や状況が変わるとコミュニケーションが安定しない	生かせる強みがある（〆欄から） レ 本人が使いやすいツール（文章、単語、絵、写真、シンボル、具身体物等）を提供する レ 伝える量に配慮する レ 伝える速さを調整する 理解できるまで待つ 環境を整え、刺激を少なくする レ だれに、どうやって伝えるか具体的に示す 忘れたいときに思い出させる工夫を用意する 会話も見えるツールで支援する 本人の処理速度に合わせて会話の場の設定をする
想像力 の 特 性	ジュースを飲み始めたら止められない。 飲んでいる時に手洗いをすずめられても動けない。 細かいゴミを気にしている レシートを破く	レ 見えないものの理解が難しい レ 自分のルールを変えられることに強い困惑を感じる 見通しが持てないことに不安を感じる 日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に対応 活動の途中で止められることに抵抗を感じる レ 初めての場面で苦手である 段取りを組んだり、優先順位をつけたりすることが苦手である なんとなく、だいたいのイメージを持ちにくい レ 興味関心が狭く強く、興味の対象に執着的になることもある 細かいことが気になって振付けられなくなってしまう 同じ場所に置きたい、同じ行動を繰り返したいなどのこだわりがある レ 情報の多いものの処理が苦手である 他者の情報を同時に処理することが苦手である 今あるいはさきのこととをすぐに忘れてしまう 過去のあるべきことについてずっと覚えていて、フラッシュバックすることがある 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である レ ものごとの関連性をとらえにくい	生かせる強みがある（〆欄から） 最初から正しい方法で学べる準備をする レ 予告を視覚的にし、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 変更の使い方を統一する 順番の提示などの活動の選択のなかを明確にする レ 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせて提示（ごほうびの活用）を行う ごほうび等を活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
感覚 の 特 性	常に手や身体を動かしている	聴覚の過敏や鈍麻がある（特定の音が強い、特定の音を大音量で聞きたいなど） 視覚の過敏や鈍麻がある（まぶしく感じる、キラキラしたものが見たくなくなるなど） 触覚の過敏や鈍麻がある（爪切りなどに強い痛みを感じる、逆に痛みにも鈍感など） 嗅覚の過敏や鈍麻がある（匂いに強い興味がある、特定の刺激の強い味を好むなど） 味覚の過敏や鈍麻がある（暑い食べ物や飲み物、特定の刺激の強い味を好むなど） レ 目が回りにくい、乗り物酔いが程度に激しい、特定の刺激の強い味を好むなど 汗をかきにくく体温調節が苦手、気圧の変化に弱いなど 力加減がうまくできないなど レ 疲労やストレスが感覚の過敏や鈍麻に影響をもたらす つまむなど細かい手先の使い方が不得手である 右手と左手を協働させて操作することが苦手である 道具を上手に使うことが難しい 立位や座位など、姿勢の維持が難しい 身体の動かし方がぎこちない 球技などの運動が苦手である 身体模倣が上手にできない	生かせる強みがある（〆欄から） レ 必要な刺激は保証する 苦手な刺激を少なくするための配慮（イヤーマフ・サングラスなど）をする 他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 遊遊場所の確保を行う その他
※得意なこと・強み・ できること・好きなことなど			

## 2. 「特性確認シート」より関連する「障害特性」を記入します。

課題となっている行動

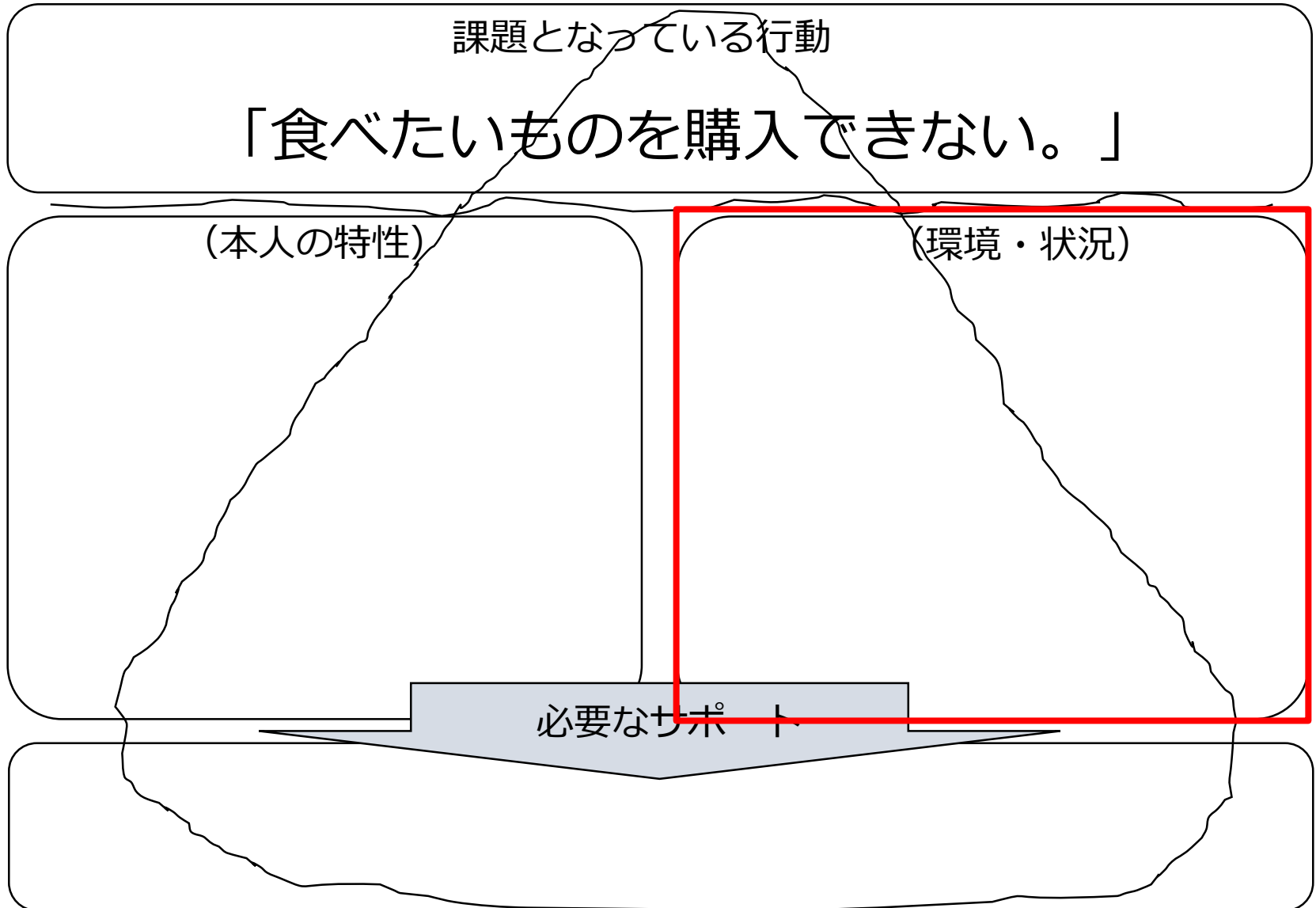
「食べたいものを購入できない。」

(本人の特性)	(環境・状況)

必要なサポート

The diagram illustrates the process of identifying support needs. At the top, a box labeled '課題となっている行動' (Action that has become a problem) contains the text '「食べたいものを購入できない。」' (Cannot purchase what I want to eat.). Below this, a table with two columns, '(本人の特性)' (Individual Characteristics) and '(環境・状況)' (Environment/Situation), is shown. The '(本人の特性)' column is highlighted with a red border. At the bottom, a blue arrow labeled '必要なサポート' (Required Support) points upwards towards the table, indicating that support is needed based on the characteristics and environment.

### 3. 動画より関連する「環境や状況」を記入します。



# 動画の視聴

# 「冰山モデルシート」の作成



今度は、グループで作成します

使用シート

資料8「グループワーク用冰山モデルシート」A3

③「購入する」場面を使ってグループで冰山モデルを作成します。

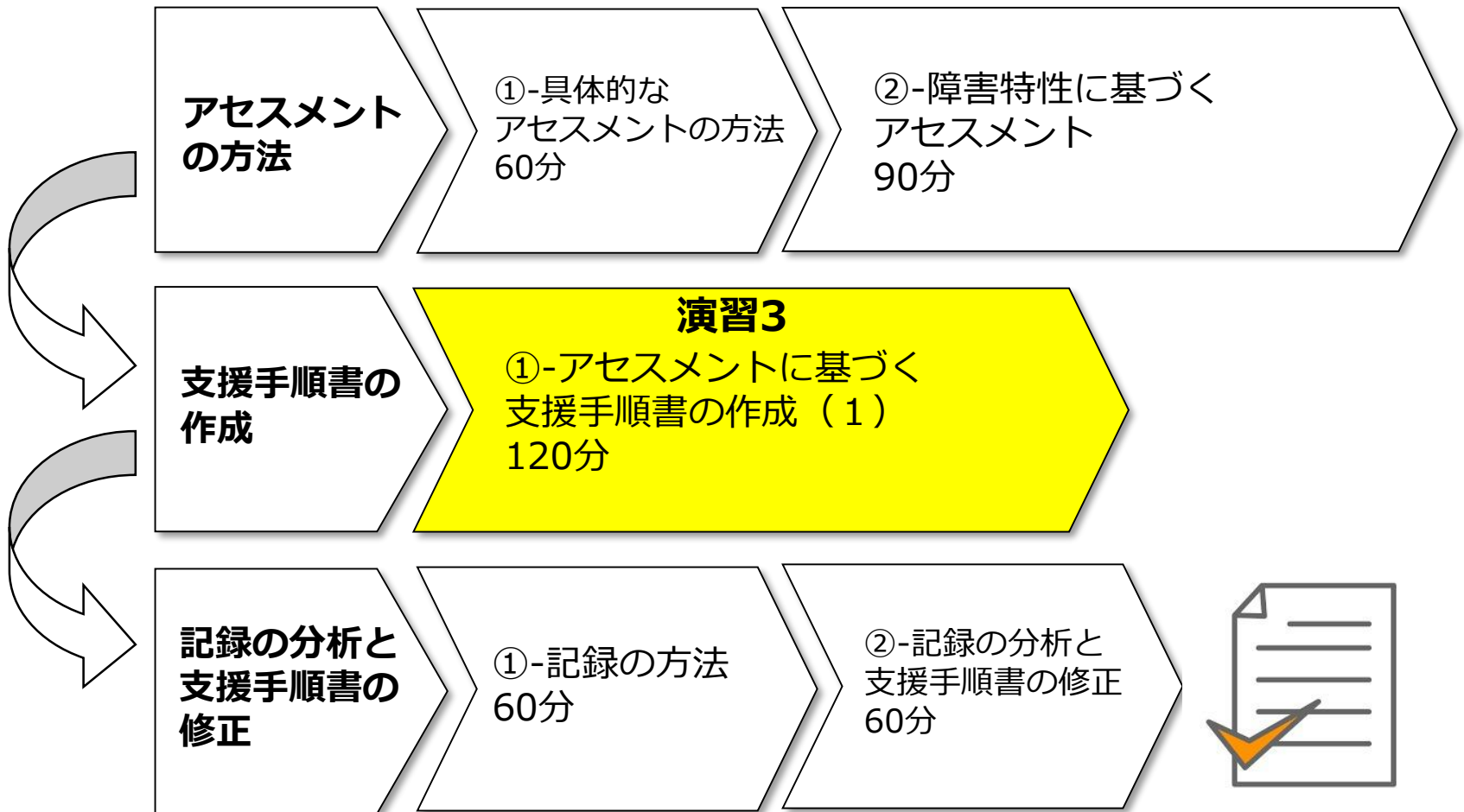
1. 個人ワークの共有
2. グループでまとめる

# **演習 3 支援手順書の作成**

## **アセスメントに基づく支援手順書の作成**

社会福祉法人 同愛会  
竹矢 恒

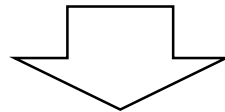
# 演習の流れ





支援手順書の  
作成

①-アセスメントに基づく  
支援手順書の作成（１）  
120分



## i) 支援手順書の作成（STさん）

- 氷山モデルの完成
- 活動の手順を決める
- 支援者の動きや必要な配慮を考える

## **i ) 支援手順書の作成(STさん)**

※今回使用するシートは、行動援護での支援手順書の一例です。支援手順書に、決まった様式はありません。

# 「冰山モデルシート」の作成



グループで作成します

③「購入する」場面の冰山モデルを完成させます。

1. 特性確認シートの「支援のアイデア」を根拠に必要なサポートを記入する。

課題となっている行動

## ①場面「落ち着いて予定を確認できない。」

### (本人の特性)

見えないものの理解が難しい  
視線や雰囲気から読みとるのは苦手  
である  
どこを見たらいいか、どこで活動し  
たらいいかわからない  
情報の多いものやその処理が苦手  
である

### (環境・状況)

ヘルパーは言葉で説明している  
いつもと違う状況で説明している  
気になるものが多い

必要なサポート

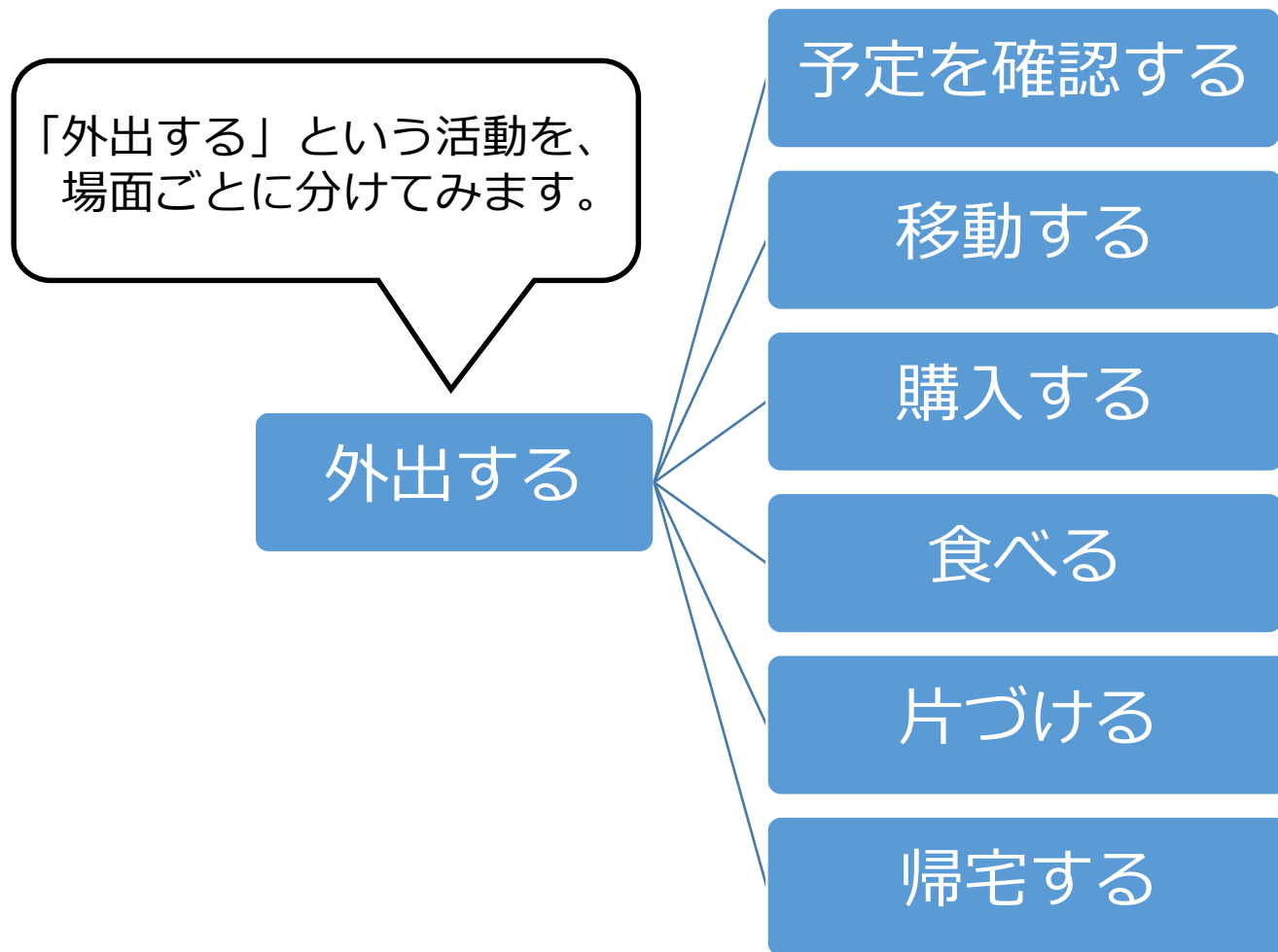
特性確認シートの「支援の  
アイデア」の内容を根拠に  
して具体的なサポートの方  
法を記入する。

(例)

☑本人が理解できる見える情報（文章,単語,絵,写真,シンボル,具体物など）で伝える  
→ 「\_\_\_\_\_」

# 活動の手順を決める

スケジュールを考える（場面を分ける）



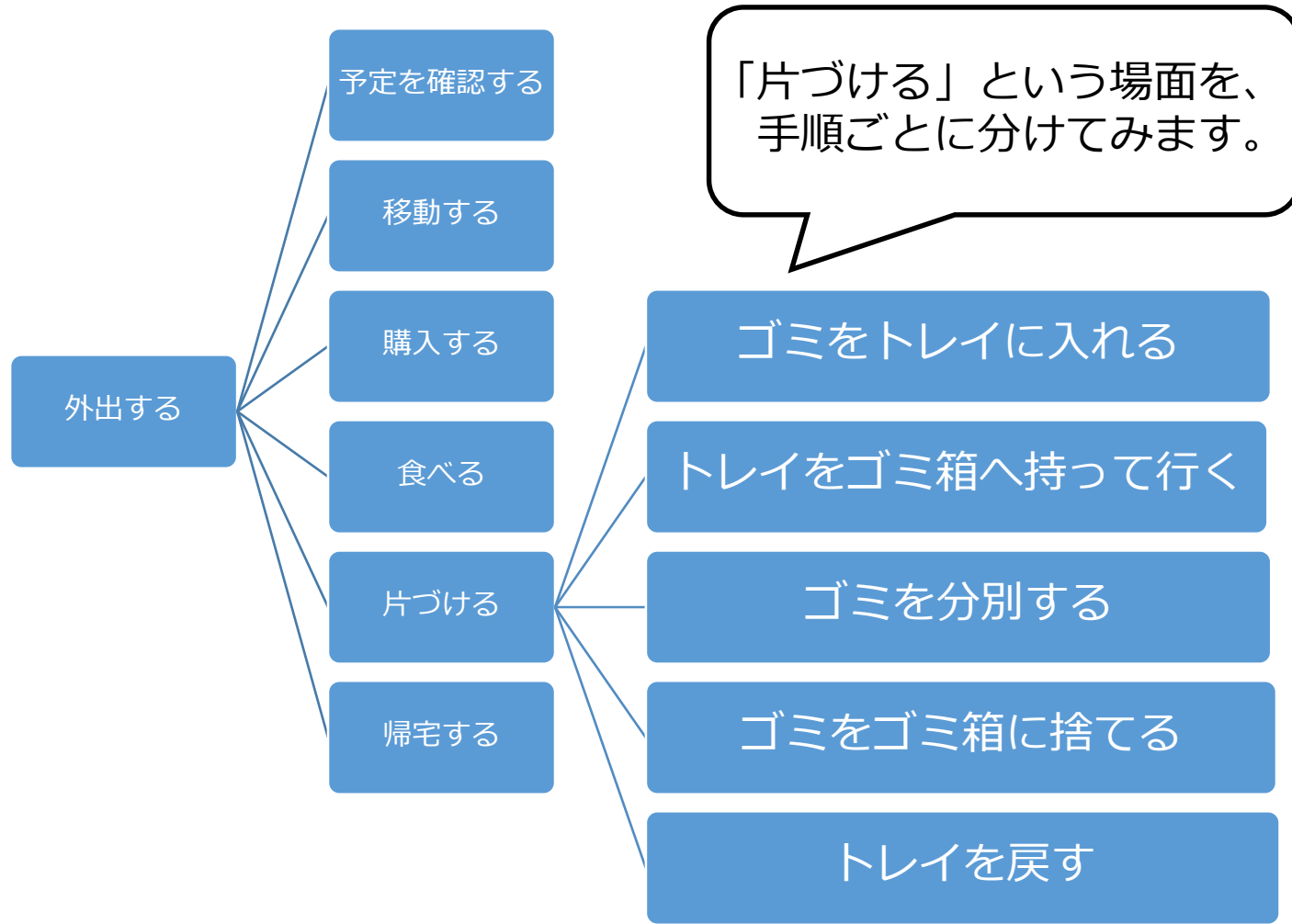
# スケジュールを考える (場面を分ける)

利用者指名 S・T 様

支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける			
⑥ 帰宅する			

# 手順を考える（工程を分ける）



# 手順を考える (工程を分ける)

利用者指名 S・T 様

支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける	1. ゴミをトレイに入れる。  2. トレイをゴミ箱に持っていく。  3. ゴミを分別する。  4. ゴミをゴミ箱に捨てる。  5. トレイを戻す。		
⑥ 帰宅する			



# 身近なことの手順を考えてみましょう

カップラーメンを作る手順  
を考えてみましょう。

1.

2.

3.

4.

5.

.

.

.

# 活動の手順を考える



今回は、個人で作成します

使用シート 資料9「個人ワーク用支援手順書」A4  
・購入する場面

③「購入する」場面を使って手順を考えます。

1. 手順（工程）を考えて支援手順書に記入します。

# 1. 手順（工程）を考えて支援手順書に記入します。

利用者指名 ST 様

## 支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける			
⑥ 帰宅する			

# 活動の手順を決める



今回は、グループで作成します

使用シート 資料10「グループワーク用支援手順書」A3  
・購入する場面

③「購入する」場面を使ってグループで手順を決めます。

1. 個人ワークの共有
2. グループでまとめる

# 支援者の動きや必要な配慮を考える

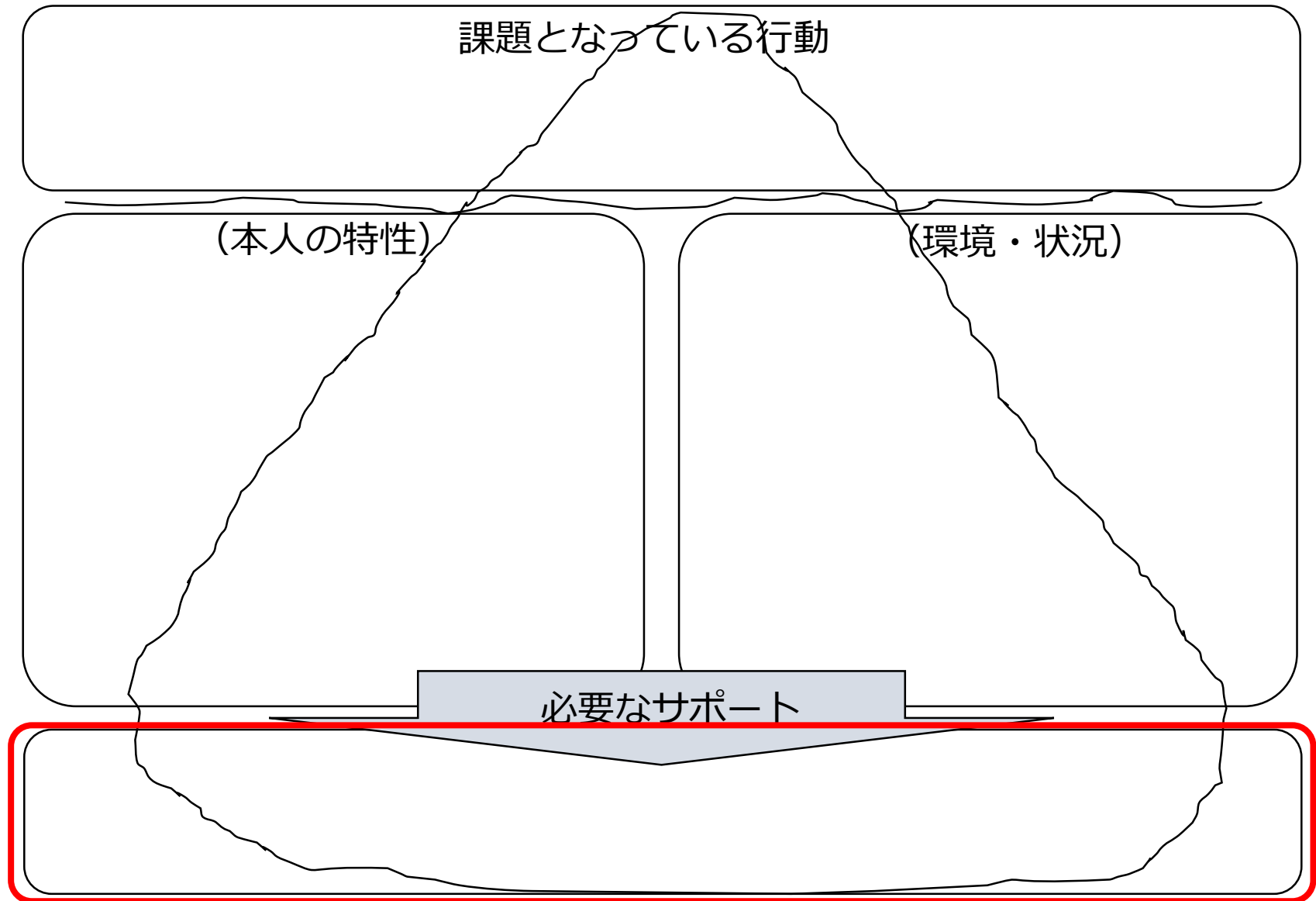


今回は、個人で作成します

③「購入する」場面を使って、個人で支援手順書を記入します。

1. 必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入する。
2. 当日の事前準備を記入する。
3. 当日までに準備しておくことを記入する。

# 1. 必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します。



# 1. 必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します。

利用者指名 S・T 様

## 支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける	1. ゴミをトレイに入れる。  2. トレイをゴミ箱に持っていく。  3. ゴミを分別する。  4. ゴミをゴミ箱に捨てる。  5. トレイを戻す。	見てわかるように指差してゴミをトレイに入れるように指示する。 ヘルパーがトレイを少し持ち上げ、本人が持つように促す。  ヘルパーが先にゴミ箱まで行き、トレイを置く場所を指差して示す。  ヘルパーが分別の方法を指差して示し、本人に分別してもらう。  ヘルパーがゴミ箱を指差して示して、分別されたゴミを正しい場所に捨てられるようにする。  ヘルパーがトレイを重ねる場所を指差して示して、自分で重ねられるようにする。	
⑥ 帰宅する			

## 2. 当日の事前準備を記入します。

利用者指名 S・T 様

### 支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける	1. ゴミをトレイに入れる。  2. トレイをゴミ箱に持っていく。  3. ゴミを分別する。  4. ゴミをゴミ箱に捨てる。  5. トレイを戻す。	見てわかるように指差してゴミをトレイに入れるように指示する。 ヘルパーがトレイを少し持ち上げ、本人が持つように促す。  ヘルパーが先にゴミ箱まで行き、トレイを置く場所を指差して示す。  ヘルパーが分別の方法を指差して示し、本人に分別してもらう。  ヘルパーがゴミ箱を指差して示して、分別されたゴミを正しい場所に捨てられるようにする。  ヘルパーがトレイを重ねる場所を指差して示して、自分で重ねられるようにする。	
⑥ 帰宅する			



# 3. 当日までに準備しておくことを記入します。

当日までに準備しておくことも考えます。

(1) 事前に外出先で確認しておくこと

(2) 支援ツールなど事前に作っておくもの・用意しておくものなど

※支援手順書の枠外に記載してください。

利用者指名 S・T 様

## 支援手順書 兼 記録用紙

日 付：〇〇年〇月〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備			
① 予定を確認する			
② 移動する			
③ 購入する			
④ 食べる			
⑤ 片づける	1. ゴミをトレイに入れる。  2. トレイをゴミ箱に持っていく。  3. ゴミを分別する。  4. ゴミをゴミ箱に捨てる。  5. トレイを戻す。	見てわかるように指差してゴミをトレイに入れるように指示する。 ヘルパーがトレイを少し持ち上げ、本人が持つように促す。  ヘルパーが先にゴミ箱まで行き、トレイを置く場所を指差して示す。  ヘルパーが分別の方法を指差して示し、本人に分別してもらう。  ヘルパーがゴミ箱を指差して示して、分別されたゴミを正しい場所に捨てるようにする。  ヘルパーがトレイを重ねる場所を指差して示して、自分で重ねられるようにする。	
⑥ 帰宅する			

+

■ 外出先で確認することリスト

■ 事前に作っておくものリスト

# 支援者の動きや必要な配慮を考える



今回は、グループで作成します

③「購入する」場面を使ってグループで支援手順書を完成させます。

1. 個人ワークの共有
2. グループでまとめる

# 発 表

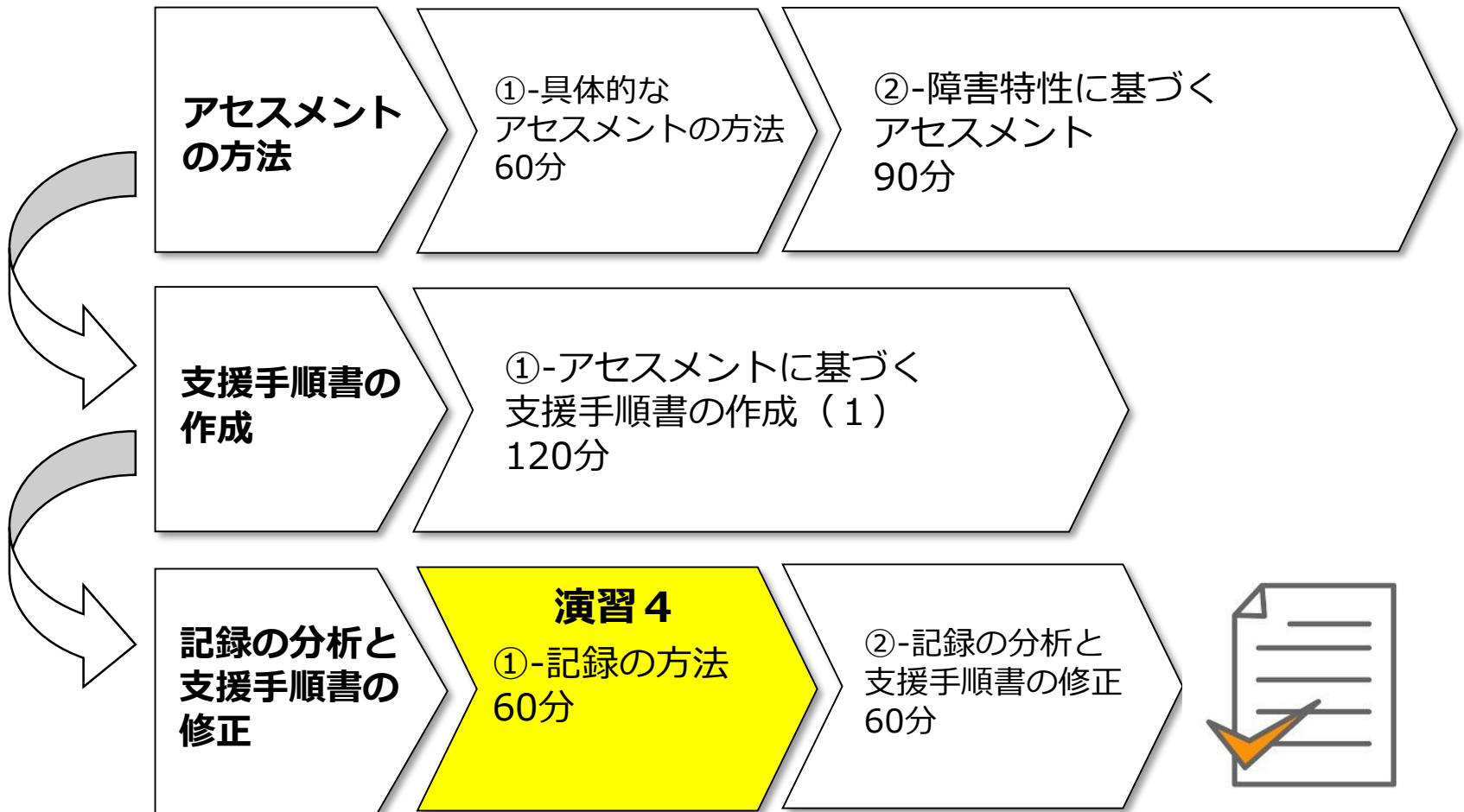
1. 活用した氷山モデルの必要なサポート
2. 当日までに準備しておくこと
3. 当日の事前準備の内容
4. 活動の手順と支援者の動きや必要な配慮

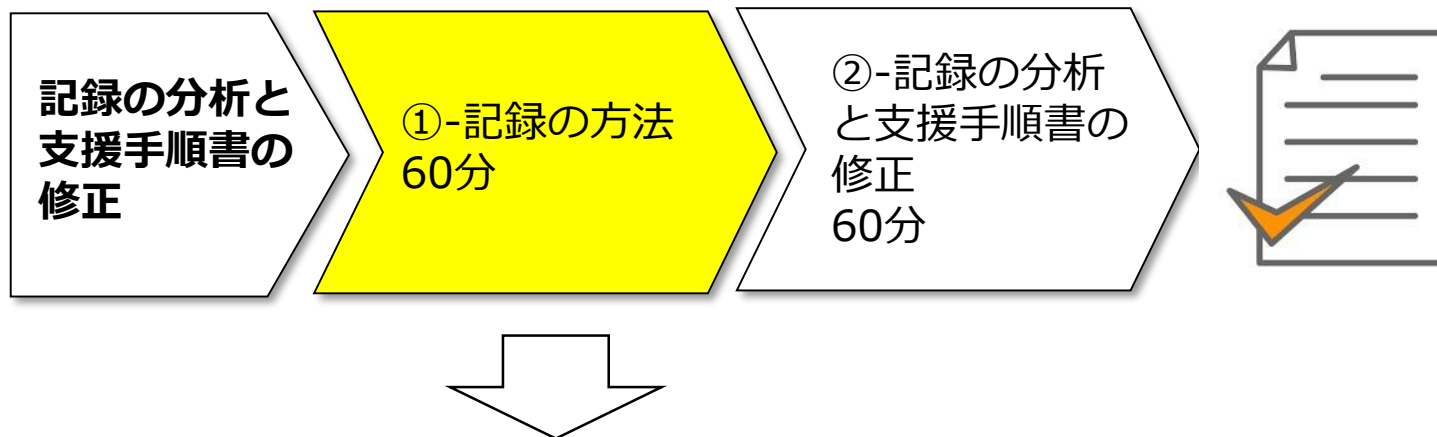


# **演習 4 記録の分析と 支援手順書の修正 I 記録の方法**

社会福祉法人 正夢の会  
稲城市発達支援センター レスポーいなぎ  
センター長 堀内 太郎

# 演習の流れ





## i) 記録に基づく支援の振り返り

- 支援の振り返りと修正の重要性
- STさんの支援の記録

**i ) 記録に基づく支援の振り返り**



# 支援の振り返りと修正の重要性

## ■ 正確なアセスメントの難しさ

本人はコミュニケーションや自分自身で振り返ることが苦手（自閉症の特性）

支援現場には誤学習や混乱を助長する環境がある場合もある

## ■ 支援の修正（再構造化）の重要性

支援者は、できるだけ**客観的**な情報を集め、  
仮説に基づき支援を考える。

（＝支援手順書の作成）

支援を実施し、結果を振り返る**プロセス**の中  
で成果を確認し、アセスメントを深める

（＝支援手順書の修正）

**スモールステップ**でより良い支援を作り上げていく。

実施した記録が  
重要

# STさんの支援の記録



今回は、個人で作成します

使用シート 資料11「個人ワーク用STさん支援手順書」A4  
資料12「グループワーク用STさん支援手順書」A3

1. 支援手順書の確認
2. 動画の視聴
3. 支援手順書の記録の記入

# STさんの支援手順書

ヘルパーステーション〇〇〇

利用者氏名：STさん

## 支援手順書 兼 記録用紙

日付：〇〇年〇〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備		スケジュールカード、台紙の準備 お金の準備 カバンの準備	
予定を確認する	予定を聞く（見る） カバンを背負う 出発する	カードを見せながら読みあげ、台紙に貼っていく。 セブンイレブンで買うものをカードで提示して台紙に貼る。 パウダールームで食べるものをカードで選択してもらい台紙に貼る。	
公園に移動する	公園まで歩く	ブランコのカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 公園に着いたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
ブランコに乗る	ブランコのところに行く ブランコに乗る 出発する	ブランコに乗られている間は近くに立って見守り。 終了1分前にタイマーをセットする。 タイマーがなったら本人に止めてもらう。 次の予定を見せて、ヘルパーが読み上げながら確認してもらう。	
セブンイレブンに移動する	セブンイレブンまで歩く	セブンイレブンと買う物のカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 セブンイレブンについたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
商品を選ぶ	店内に入る カゴを持つ 商品のところに行く 商品をカゴに入れる	店内に入ったらヘルパーでカゴを指差しで示して本人に持ってもらう。 店内ではヘルパーが前を歩いて誘導する。 購入する商品をヘルパーで指差しで示してカゴに入れてもらう。	
購入する	カゴを置く お金を渡す おつりとレシートを受け取る 商品を受け取る 出発する	カゴを置く場所をヘルパーで指差しで示して置いてもらう。 お金を本人に渡して払ってもらう。 おつりとレシートを本人に受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 本人に商品を受け取ってもらい、ヘルパーに渡し	

# 動画の視聴

# 支援手順書の記録 の記入

ヘルパーステーション〇〇〇			
利用者氏名：S・Tさん			
支援手順書 兼 記録用紙			
日付：〇〇年〇〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備		スケジュールカード、台紙の準備 お金の準備 カバンの準備	
予定を確認する	予定を聞く（見る） カバンを背負う 出発する	カードを見せながら読みあげ、台紙に貼っていく。 セブンイレブンで買うものをカードで提示して台紙に貼る。 パワードームで食べるものをカードで選択してもらい台紙に貼る。 スケジュールを確認したらカバンを渡す。	
公園に移動する	公園まで歩く	空白のカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 公園に着いたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
ブランコに乗る	ブランコのところに行く ブランコに乗る 出発する	ブランコに乗られている間は近くに見守り、終了1分前にタイマーをセットする。 タイマーがなったら本人に止めてもらう。 次の予定を見せて、ヘルパーが読み上げながら確認してもらう。	
セブンイレブンに移動する	セブンイレブンまで歩く	セブンイレブンで買う物のカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 セブンイレブンについたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
商品を選ぶ	店内に入る カゴを持つ 商品のところに行く 商品をカゴに入れる	店内に入ったらヘルパーでカゴを指差して示して本人に持ってもらう。 店内ではヘルパーが前を歩いて誘導する。 購入する商品をヘルパーで指差して示してカゴに入れてもらう。	
購入する	カゴを置く お金を渡す おつりとレシートを受け取る 商品を受け取る 出発する	カゴを置く場所をヘルパーで指差して示して置いてもらう。 お金を本人に渡して払ってもらう。 おつりとレシートを本人に受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 本人に商品を受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。ヘルパーで商品をカバンに入れる。	

# 支援手順書の記録の共有



今回は、グループワークをします

1. 役割分担（司会・記録・発表）
2. 個人ワークの共有



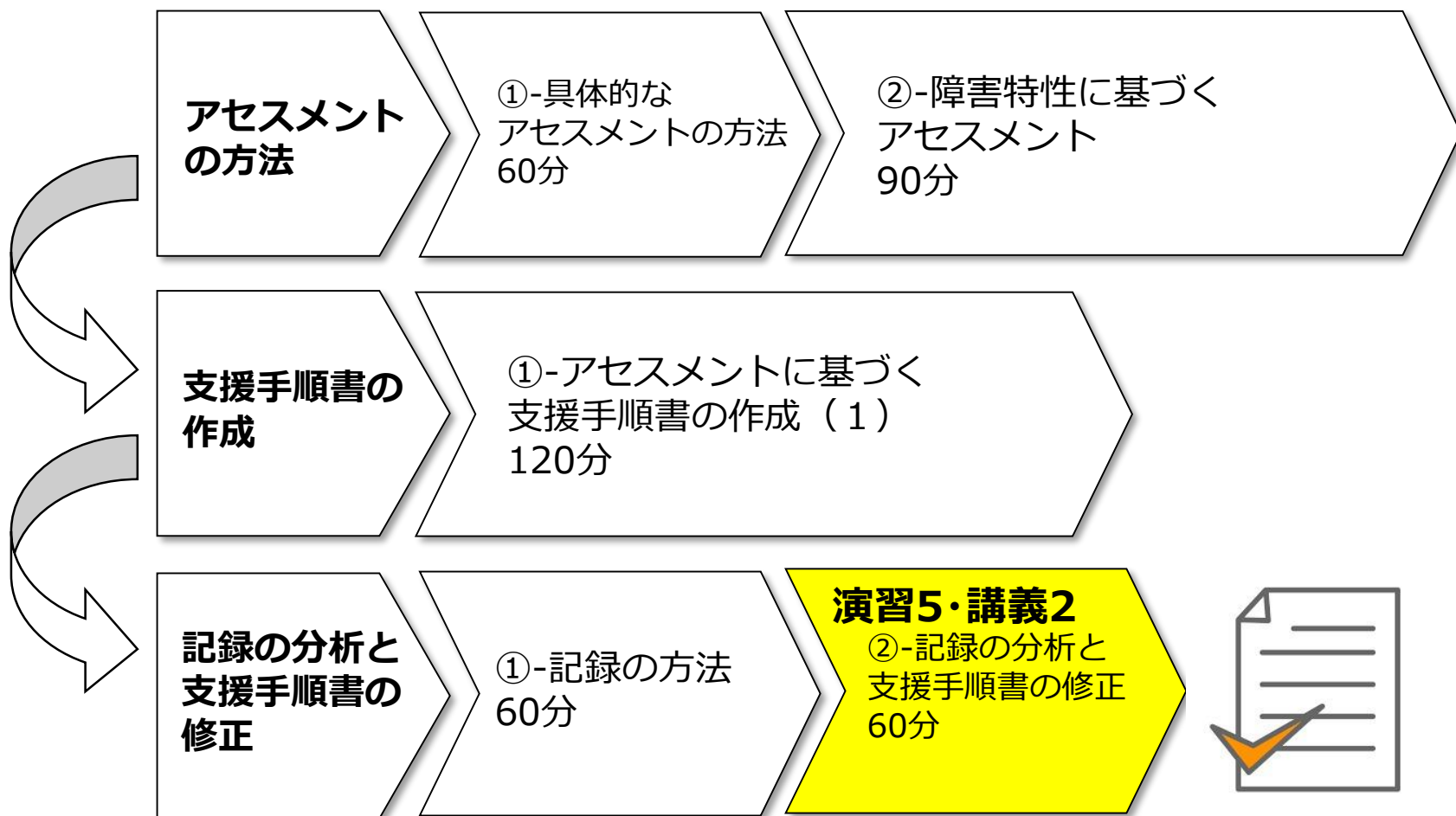


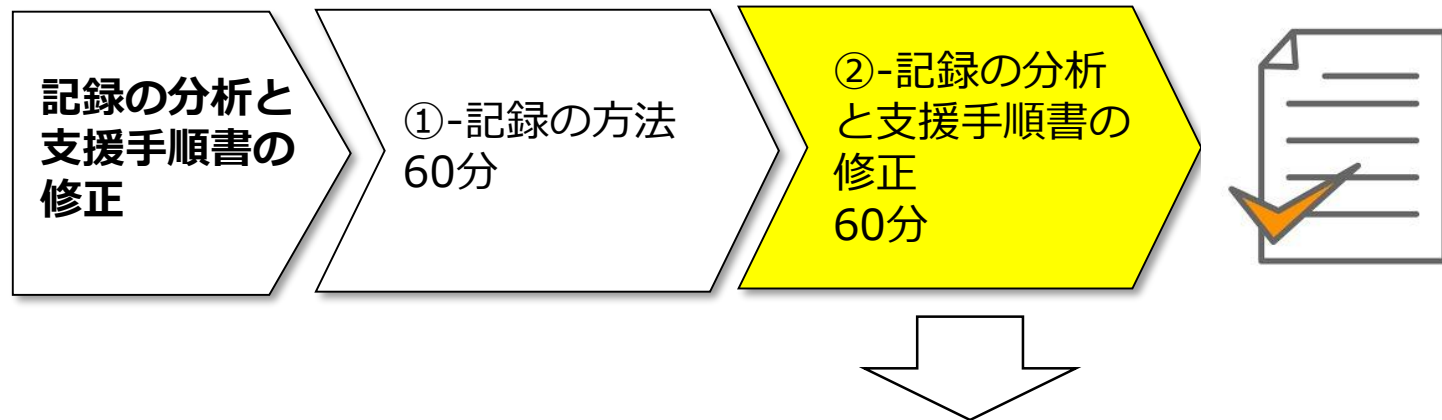
# **演習 5 記録の分析と 支援手順書の修正 II**

## **記録の分析と支援手順書の修正**

社会福祉法人 正夢の会  
稲城市発達支援センター レスポーいなぎ  
センター長 堀内 太郎

# 演習の流れ





## i) 支援手順書の修正

- 支援手順書の記録の確認
- 支援の修正の方向性
- 支援の振り返りシートの記入
- 支援手順書の修正

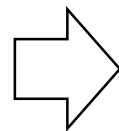
## **i ) 支援手順書の修正**

# 支援手順書の記録の確認

支援手順書に沿って支援を実施した際の、本人のそれぞれの行動について、記録に基づいて確認する。

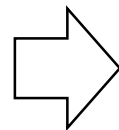
ヘルパーステーション〇〇〇			
利用者氏名：S・Tさん			
支援手順書 兼 記録用紙			
日付：〇〇年〇〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備		スケジュールカード、台紙の準備 お金の準備 カバンの準備	
予定を確認する	予定を聞く（見る） カバンを背負う 出発する	カードを見せながら読みあげ、台紙に貼っていく。 セブンイレブンで買うものをカードで提示して台紙に貼る。 パウダームで食べるものをカードで選択してしてもらい台紙に貼る。 スケジュールを確認したらカバンを渡す。	
公園に移動する	公園まで歩く	ブランコのカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 公園に着いたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
ブランコに乗る	ブランコのところに行く ブランコに乗る 出発する	ブランコに乗られている間は近く立って見守り。 終了1分前にタイマーをセットする。 タイマーがなったら本人に止めてもらう。 次の予定を見せて、ヘルパーが読み上げながら確認してもらう。	
セブンイレブンに移動する	セブンイレブンまで歩く	セブンイレブンと買う物のカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 セブンイレブンについたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
商品を選ぶ	店内に入る カゴを持つ 商品のところに行く 商品をカゴに入れる	店内に入ったらヘルパーでカゴを指差しで示して本人に持ってもらう。 店内ではヘルパーが前を歩いて誘導する。 購入する商品をヘルパーで指差しで示してカゴに入れてもらう。	
購入する	カゴを置く お金を渡す おつりとレシートを受け取る 商品を受け取る 出発する	カゴを置く場所をヘルパーで指差しで示して置いてもらう。 お金を本人に渡して払ってもらう。 おつりとレシートを本人に受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 本人に商品を受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 ヘルパーで商品をカバンに入れる。	

1. 自立して取り組める。  
期待した成果がでて  
いる。



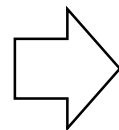
支援を継続する。  
生活の中で広げていく。

2. 少し手助けが必要。  
十分ではないが成果  
がでている。



支援内容を分析し、より  
効果的な支援を検討する。  
より自立できるよう手直  
しする。

3. 全くできない。  
成果がでない。



支援を見直す。  
構造化や介助の度合いを  
上げる。

それぞれの行動ごとに見ていくことで、  
手直しのポイントがつかみやすい

# 支援の修正の方向性

# 記録に基づく振り返りのポイント

成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援することで、期待された効果があったか 例：自傷行為が減る、自立して活動に取り組める</li></ul>
本人の理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援の内容や使用したツールについてご本人の理解 例：カードの意味がわかる、選択ができるなど</li></ul>
本人や家族の 納得の度合い	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援についてご本人や家族の納得の度合い</li></ul>
実施のスムーズさ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画に沿って支援現場で継続して実施できているか</li></ul>
支援者の関わり方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ご本人への教授の仕方、促しかた、フェードアウト</li></ul>
その他観察できた 特性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援の中で観察できたご本人の特性 例：終わりがわかると集中できる、情報が多いと混乱しやすい</li></ul>



# 支援の修正の方向性

成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ プラスの成果を踏まえて支援のステップアップの検討する。</li><li>・ マイナスの成果を踏まえて支援を修正する。</li><li>・ 本人の自閉症の特性やスキルを再確認する。</li></ul>
本人の理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本人の理解度に合わせたツールを使用する。</li><li>・ 本人が理解しやすい環境設定をする。</li></ul>
本人や家族の 納得の度合い	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本人、家族のニーズを再確認する。</li><li>・ 家庭と事業所の認識の違いを埋める。</li></ul>
実施のスムーズさ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 必要な時間に支援者を確保する。</li><li>・ タイムスケジュールを見直す。</li><li>・ 必要に応じて上長に相談する。</li></ul>
支援者の関わり方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援手順書の内容を周知徹底する。</li><li>・ 過干渉になっていないか再確認する。</li><li>・ 本人の特性やスキルに合わせた伝え方の再確認。</li></ul>
その他観察できた 特性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 観察できた行動、特性を今後の支援に活用する。</li></ul>

**(参考)**

## **「スキルの確認（スキルの評価）」**

支援が本人の実際のスキルと合っているかを、  
普段関わっているスタッフが短時間に現場で  
実施できるインフォーマルアセスメントです。

# スキルの確認の例

## ○コミュニケーション（受信・発信）について

- ・言葉がどのくらい理解できているか
- ・嫌なときなどの表現の仕方
- ・活動の選択ができるか など

## ○認知について

- ・活動のやり方やルールを理解できているか
- ・スケジュールやタイマーなどの意味を理解できているか
- ・どのような視覚情報だと理解できるか
- ・文字、数字、色、矢印 など

## ○取り組み方について

- ・支援者の指示や手助けについての理解
- ・課題や指示には前向きに応じれるか など

## 手直しする際の留意点

「行動が改善されたので支援をやめる・・・」

- ・ 自閉症の特性は変わらない、支援をやめることで元の状態に戻りやすい（時間差がある場合も）。
- ・ 本人の学習の度合いや変化を踏まえ慎重に検討を。
- ・ 特性を踏まえより生活に合った形に。

# 手直しする際の留意点

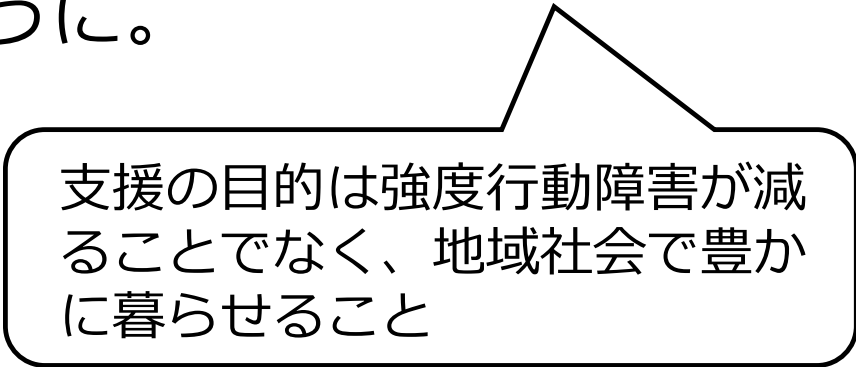
「自立しないといけない・・・」

- ・すべての活動を自立して取り組むことが難しい人もいる。
- ・支援を受けながら、できる部分は自立する。
- ・自閉症の人は疲れやすい人も多い。本人にかかる負荷にも注意。

# 支援手順書をより良いものに

「支援を広げる」

- ・ うまくいった内容を他の場面に広げていく。
- ・ 特定の支援者から複数の支援者が関われるように。
- ・ アセスメントできた特性や手順を活かす。
- ・ より自立できるように。



支援の目的は強度行動障害が減ることだけでなく、地域社会で豊かに暮らせること

# 「支援の振り返りシート」の記入



今回は、グループで行います

資料13「グループワーク用支援の振り返りシート」A3

日付：〇〇年〇〇日 記入者：〇〇

利用者指名：STさん

## 支援の振り返りシート

	振り返り	修正の方向性
成果		
ご本人の理解		
ご本人や家族の納得の度合い	記載できないところは空欄	
実施のスムーズさ		
支援者の関わり方		
その他観察できた特性		

# 支援手順書の修正



今回は、グループで行います

資料14「グループワーク用  
STさん支援手順書修正用」A3

1. 支援の振り返りシートの記入

2. 記入した1を見ながら、支援  
手順書を修正

※修正用の支援手順書に修正点を書き込みます。

3. 発表

- 支援の振り返りシートの内容
- 支援手順書の修正内容

利用者氏名：STさん

ヘルパーステーション〇〇〇

支援手順書 兼 記録用紙

日付：〇〇年〇〇日 記入者：〇〇			
スケジュール	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子（記録）
事前準備		スケジュールカード、台紙の準備 お金の準備 カゴの準備	
予定を確認する	予定を聞く（見る） カバンを背負う 出発する	カードを見せながら読みあげ、台紙に貼っていく。 セブンイレブンで買ったものをカードで提示して台紙に貼る。 パワードームで買ったものをカードで提示してもらい台紙に貼る。 スケジュールを確認したらカバンを渡す。	
公園に移動する	公園まで歩く	ブランコのカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 公園にいったら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
ブランコに乗る	ブランコのところに行く ブランコに乗る 出発する	ブランコに昇られている際は遠くまで立って見守り。 タイマーがなくなったら本人に伝えてもらう。 次の予定を見せ、ヘルパーが読み上げながら確認してもらう。	
セブンイレブンに移動する	セブンイレブンまで歩く	セブンイレブンで買ったカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 セブンイレブンについていたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
商品を選ぶ	店内に入る カゴを持つ 商品のところに行く 商品をカゴに入れる	店内に入ったらヘルパーでカゴを指差しで示して本人に持ってもらう。 店内ではヘルパーが前を歩いて誘導する。 購入する商品をヘルパーで指差しで示してカゴに入れてもらう。	
購入する	カゴを置く お金を渡す おつりとレシートを受け取る 商品を受け取る 出発する	カゴを置く場所をヘルパーで指差しで示して置てもらい、 お金を本人に渡して持ってもらい、 おつりとレシートを本人に受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 本人に商品を受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 ヘルパーで商品をカゴに入れる。 次の予定を見せ、ヘルパーが読み上げながら確認してもらう。	
パワードームに移動する	パワードームまで歩く	パワードームのカードを渡して持ってもらう。 ヘルパーは車道側を歩く。 パワードームについていたら持っているカードを台紙のボックスに入れてもらう。	
購入する	店内に入る 注文する お金を渡す おつりとレシートを受け取る 商品を受け取る	店内ではヘルパーが前を歩いて誘導する。 あらかじめ選んでいた商品をヘルパーで注文する。 お金を本人に渡して持ってもらい、 おつりとレシートを本人に受け取ってもらい、ヘルパーに渡してもらう。 商品をヘルパーで指差しで示して本人に持って帰ってもらい、	



# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、アセスメントに基づいた本人の障害特性を理解して、**根拠**のある支援を組み立てることが基本です。
2. 強度行動障害が現れている方への支援は、支援者が**統一**した支援をすることが重要。そのために支援手順書を作成する必要があります。

# まとめの講義

3. 支援手順書に基づいた支援を振り返り、改善していくことが重要です。**PDCAのサイクル**でより良い支援の実施を目指します。
4. 職員のために強度行動障害を改善することが目的ではなく、本人の生活の質が上がることが大切です。